

エコアクション21 環境経営レポート



第54期

(2020年10月～2021年9月)

発行日 2021年10月30日
株式会社 カンサイ

ご挨拶	2
01. 会社概要・沿革等	3
02. 環境方針等	4
03. 推進体制並びに責任と権限	
(1) 推進体制	5
(2) 責任と権限	5
04. カンサイにおけるSDGs	6
05. 環境負荷の実績と考察50期～54期	
(1) 実績	7
(2) 考察	8
06. 54期の環境活動計画と中期目標	
(1) 54期の環境活動計画	9
(2) 中期環境目標	10
07. 54期各部署取り組みと実績・評価(環境負荷低減)	11～22
08. 54期各部署取り組みと実績・評価(環境改善)	23～25
09. 54期各部署取り組み(コミュニケーション)	26～27
10. 54期の取り組み(教育)	28～31
11. 54期の取り組み(安全衛生)	32～33
12. 情報公開	34～40
13. リサイクル製品	41
14. 55期の活動計画	42
15. 第三者意見	43
16. 代表者による全体評価と見直しの結果	44
17. 編集後記	44

原点

株式会社カンサイは、1968年の創業以来「人と人との調和 人と自然との調和を大切に」という考えのもと、廃棄物処理業・リサイクル業を追求してきました。また、2013年4月、企業理念として、

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、
併せて人類と自然との調和を大切にする

を制定しました。これは株式会社カンサイの企業活動の原点であり、判断や行動の拠り所になるものです。目先の利益にとらわれるのではなく、全社員が人として何が正しいのかを基準に考え行動し続けることにより、安心・安全なサービスを提供できると考えています。

創意工夫

株式会社カンサイは、「廃棄物処理」を起点に事業を拡大してきました。また自然環境の保全、資源の有効利用を推進する循環型社会基本法、個別物品に応じたリサイクル関連法が制定されました。そうした社会背景から、当社に廃棄物処理をご依頼くださるお客様のニーズも多様化しています。車両の更新、廃棄物処理施設・リサイクル施設の高度化は元より、ニーズにお応えするための技術革新、そして進化をもたらす人材育成に努め、社会からの期待に応え、さらなる成長をめざしていきます。

調和

株式会社カンサイは、「人・社会・環境」との調和を図ることで、社会から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。工場見学者の受入、情報開示、地域交流や協賛を長期に渡って取組んでまいりました。

また、社会貢献活動の一環として、平成17年に循環型農園「きなり村」を開設いたしました。食に対する関心が高まっている中、当社のリサイクル製品である肥料を使用し、化学肥料や農薬を使用しない有機農法によって作物を栽培し、都市部へ循環させるという取組みを行っています。

これからも「人と自然との調和を大切に」し、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

株式会社 カンサイ
代表取締役

川本 義二



会社概要

会社概要

会社名	株式会社カンサイ		
所在地	広島県広島市佐伯区五日市町大字石内460番地 TEL：(082) 941-1641 FAX：(082) 941-1715		
代表者	代表取締役	川本 義二	
環境管理責任者	環境事業部部长	北川 貴伸	
従業員数	42名		
敷地面積	13,838m ²		
資本金	18.4百万円		
中間処理量	第54期	12,784 t	
収集運搬量	第54期	5,419 t	
売上高	第54期	806百万円	
URL	https://ekansai.co.jp		
事業内容	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬処理 建設土木工事 リサイクル業 環境衛生プラントのメンテナンス 環境計量証明事業 肥料製造業 上下水道の調査		



沿革

1968年2月
関西特殊産業として産業廃棄物処理を目的に設立
1972年9月
産業廃棄物の収集運搬処理の許可を取得
1979年7月
ロータリーキルン式焼却炉を設置
1979年10月
汚泥肥料生産 肥料生産販売業届出
1982年4月
環境計量室を新設
1985年12月
倉橋工場を新設 肥料の生産

1991年10月
回転炉床式焼却炉を設置
1998年10月
株式会社カンサイに社名変更
2010年2月
エコアクション21認証取得
2014年7月
広島県特別管理廃棄物収集運搬業許可の優良認定
2014年10月
川本義二社長就任
2015年10月
回転炉床式焼却炉にバグフィルターの設置

社 是

人と人との調和
人と自然との調和を大切に

企業理念

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに
併せて人類と自然（全人類 大自然）との調和を大切にする

環境方針

「人と自然との調和を大切に」

私たちは、人と自然との調和を大切にし、地域社会と利害関係者とのふれ合いを図り、技術と知恵と勇気を持って環境問題に積極的に取り組み、広く社会に貢献できる企業を目指します。

行動指針

私たちは省エネ・省資源をはじめ、地球環境の保全と、資源の有効利用に弛まない努力と創意工夫を行い地域社会の一員として健全なる社会の発展に貢献いたします。

基本方針

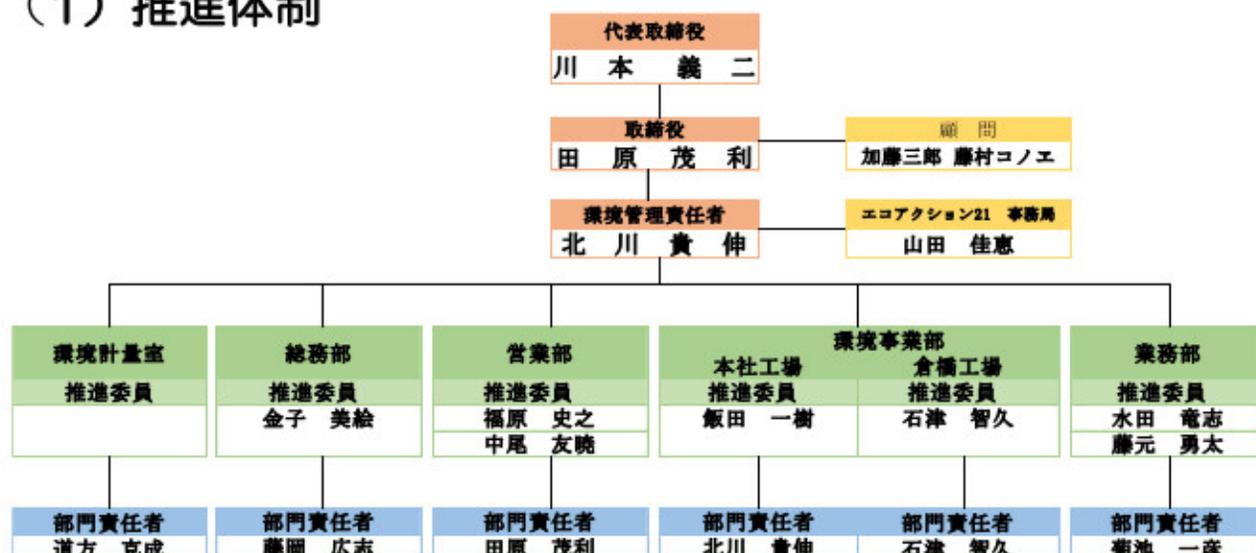
1. 資源の節約と再利用を促進し、環境と資源の保全に努めます。
 - CO₂排出量の低減や森林資源の保護、バイオマス利活用によるCO₂吸収、エネルギーの有効活用等に寄与します。
 - 廃棄物の削減、資源化率の向上を推進いたします。
 - 資源循環の技術開発を積極的に推進いたします。
2. 事業に関連する全ての法律を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムの効率的な運用を行い、環境負荷の低減に努めます。
4. 情報はホームページ、電子掲示板、ポスター等により、全ての関係者に広く公開いたします。

制定 2009年10月1日
改訂 2014年 3月1日

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

(1) 推進体制



当社はエコアクション21推進委員会を中心とした体制で、環境対応に取り組んでいます。

(2) 責任と権限

責任及び権限	
統括 (代表取締役)	①環境方針の策定と全従業員への周知 ②環境管理責任者の任命 ③運用に必要な人材、設備、時間の準備 ④全体の取組み状況の評価、見直し
環境管理責任者	①環境活動の取組み結果を代表者へ報告 ②環境力道場の開催
エコアクション21 推進責任者	①エコアクション21事務局の総括 ②一般教育の計画、実施 ③環境力道場の運営
エコアクション21 事務局	①環境データの集計、取りまとめ ②環境関連文書及び記録の管理 ③外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応
推進委員	①各部門における環境活動の管理 ②環境活動の実績の把握と事務局への報告
部門責任者	①自部門の環境活動の責任 ②実務教育・訓練（専門教育）の計画、実施
全従業員	①環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加



SDGs (Sustainable Development Goals) とはほとんど全ての国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17項目の持続可能な開発目標です。SDGsは先進国と途上国がー丸となって達成すべき目標で構成されていることが特徴です。

カンサイは、産業廃棄物の処理とリサイクルを担ってきたことで、持続可能な開発に長年貢献をしてきました。これからも様々な活動を通じてSDGsに取り組んでいきます。

	SDGs目標	カンサイの取り組みと掲載ページ
	質の高い教育をみんなに	環境力道場で知識を知恵に変え実働にいかす理念手帳を社員自ら作成し、社員の共通認識を高める・・・ P 28,29
	ジェンダー平等を実現しよう	全社員がセクハラ・パワハラ研修を受け撲滅に努めている・・・ P 30
	安全な水とトイレを世界中に	自社工場で使用する水の節水に努める他自治体の上下水処理場清掃での水資源管理に貢献・・・ P 13,14,24
	働きがいも経済成長も	社内報や家族会開催で家族的経営を目指す・・・ P 27
	住み続けられるまちづくりを	清掃活動を通して地域貢献・・・ P 26
	つくる責任 つかう責任	リサイクル肥料製造と販売で環境にやさしい肥料の提供 グリーン購入で環境配慮商品の購入管理・・・ P 19,41
	気候変動に具体的な対策を	化石燃料使用量を削減しCO ₂ 排出量を抑制する・・・ P 11,12,14~16,18,19
	陸の豊かさを守ろう	安心安全な生活環境を環境分析で支援する・・・ P 25

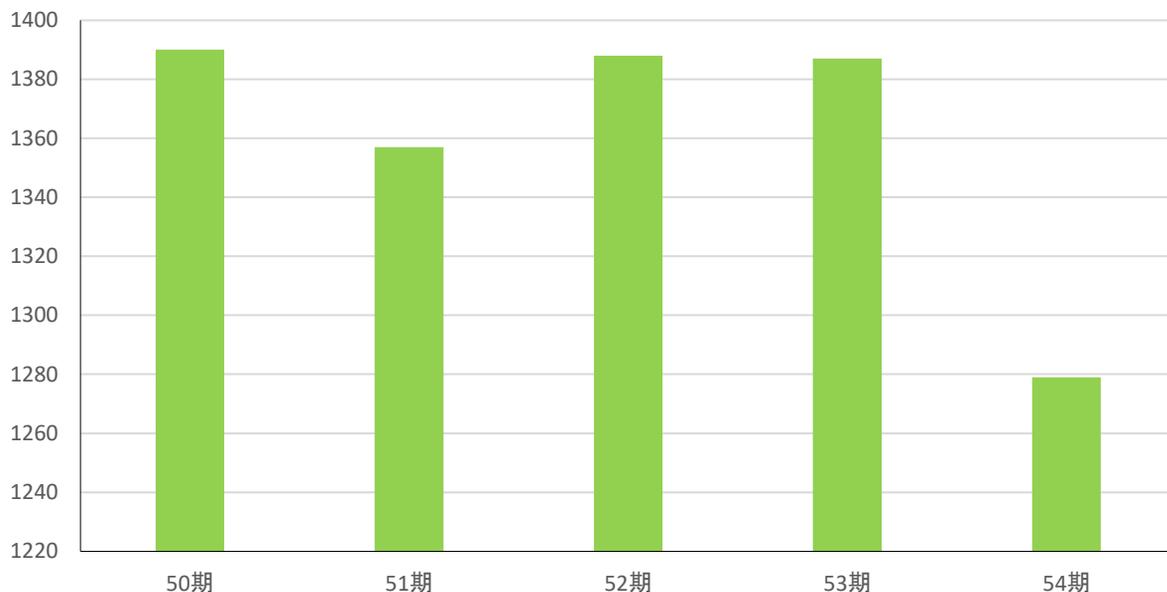
(1) 実績

		単位	50期	51期	52期	53期	54期	排出係数	単位	54期CO ₂ 排出量
二酸化炭素等総排出量	電力 (本社工場・倉橋工場)	kWh	736,105	729,526	692,673	641,849	643,179	* 0.585	t-CO ₂	376
		前年対比%	1%↑	1%↓	5%↓	7%↓	0.2%↑			
	電力 (事務所・休憩所)	kWh	82,293	94,604	84,290	83,586	82,757	* 0.585	t-CO ₂	49
		前年対比%	3%↓	15%↑	11%↓	1%↓	1%↓			
	灯油	ℓ	-	-	200	90	-	0.0679	t-CO ₂	0.0
		前年対比%	-	-	-	55%↓	-			
	A重油	ℓ	137,378	131,705	153,665	172,522	167,183	0.0693	t-CO ₂	453
		前年対比%	0.1%↓	4%↓	17%↑	12%↑	3%↓			
LPG	kg	664	692	344	254	332	0.0598	t-CO ₂	1	
	前年対比%	5%↓	4%↑	50%↑	26%↓	30%↑				
ガソリン	ℓ	11,841	11,720	12,327	11,976	9,942	0.0671	t-CO ₂	23	
	前年対比%	1.1%↓	1%↓	5%↑	2%↓	17%↓				
軽油	ℓ	146,897	151,770	153,699	147,806	140,178	0.0687	t-CO ₂	368	
	前年対比%	1.2%↑	3%↑	1%↑	4%↓	5%↓				
建設土木業	kg-CO ₂			7,479	10,361	9,000		t-CO ₂	9	
	前年対比%				39%↑	13%↓				
合計	t-CO ₂	1,390	1,357	1,388	1,387	1,279		t-CO ₂	1,279	
	前年対比%	0.6%↑	2.4%↓	2%↑	0.1%↓	8%↓		前年対比%	8%↓	
総排水量 (事務所・倉橋工場)	m ³	1,461	1,378	1,200	981	934		m ³	934	
	前年対比%	5%↓	6%↓	13%↓	18%↓	5%↓		前年対比%	5%↓	
廃棄物排出量	t	5,367	5,697	5,116	5,077	4,755		t	4,756	
	前年対比%	7%↓	6%↑	10%↓	0.8%↓	6%↓		前年対比%	06%↓	
セメント使用量 (本社工場)	t	1,690	1,950	2,000	1,737	1,180		t	1,180	
	前年対比%	10%↓	15%↑	3%↑	13%↓	32%↓		前年対比%	32%↓	
	苛性ソーダ使用量 (本社工場)	ℓ	98,000	99,000	91,000	80,000		88,000	ℓ	8,800
	前年対比%	2%↑	1%↑	8%↓	12%↓	10%↑	前年対比%	10%↓		
PAC使用量 (本社工場)	ℓ	2,000	2,500	2,500	2,400	900		ℓ	900	
	前年対比%	33%↓	25%↑	増減なし	4%↓	63%↓		前年対比%	63%↓	

※二酸化炭素排出量は、エネルギー種類ごとに消費量×二酸化炭素排出係数×単位発熱量を掛け合わせた数字です。この表では各期の消費量の実績と54期二酸化炭素排出量を掲載しています。

※環境省2014年公表電力事業社別CO₂排出係数は、中国電力0.719kg-CO₂/kWhですが、前年との比較と経過観察のため、47期～50期までは環境省2013年公表電気事業者別CO₂排出係数(中国電力0.738kg-CO₂/kWh)を使用。51期～53期は排出係数(中国電力0.694kg-CO₂/kWh)を使用しています。

※54期～56期は、最新排出係数(中国電力0.585kg-CO₂/kWh)を使用します。

二酸化炭素総排出量 t-CO₂

(2) 考察

CO₂総排出量は、前期より108 t-CO₂削減できました。本社工場、倉橋工場の電力使用量が前期と比べて69 t-CO₂の削減ができました。また、業務車両の燃料使用量も0.1 t-CO₂削減できました。そのほかの取り組みでも前期に比べて微小ですが削減できています。しかし、本社工場回転炉床A重油は、作業員の安全を考慮し作業手順を見直した事で、前期と比べて14.8 t-CO₂増加しました。

本社工場は、ここ数年のLED化や省エネ機器への更新が進み電力使用量が削減できています。その一方で、A重油使用量が削減できていません。施設トラブル等によりロスが生じていますので、55期は設備更新をして効率的な運転に努め、A重油使用ロスを無くすことで削減に努めていきます。

倉橋工場は、発酵設備改修が計画通り実行でき設備も稼動しCO₂も順調に削減できました。また、油圧ショベルの入れ替えによって軽油の使用量も削減できました。今後は、気温変化に応じた温度管理をこまめにして設備を最大限活用して削減に努めます。

業務部は、毎月の業務会議でアイドリングストップの意識が向上したことで、目標達成できました。地道な活動を継続していき削減に努めます。

営業部は、営業車両を1台減車したことでガソリン使用量が少なくなり前期よりはCO₂排出量は抑えられました。また、9月に車両入れ替えを1台行い燃費向上に努めました。

本社事務所は、電力使用量が毎年削減できていますので継続して取り組み、また、仕事内容を見直しムダな残業を減らし、環境にも社員にもやさしい職場づくりに努めていきます。

CO₂排出量削減の要因は排出係数を見直した事が影響していますが、地道な取り組みで使用量も前期より削減できている取り組みが多く見受けられます。本社工場の修繕工事を早く実施することで少しでもA重油使用量を抑制することが期待されます。また、コロナ禍の影響やパリ協定に基づく日本の削減目標(2050年ゼロエミッション)を踏まえて、これからのカンサイは、どのような事業活動を展開していくべきかの検討にも取り掛かりたいと思います。

(1) 54期の環境活動計画

※54期は、環境改善活動のさらなる実施と併せて、全社員の成長に重点を置いた取り組みを実施します。まず、新年に「人間力の向上」をテーマに抱負を掲げ進捗状況を確認（年3回）して、各自の成長に向けた取り組みをしていきます。

※セクハラ・パワハラ撲滅に取り組めます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取り組み	個人の成長（人間力の向上）	年間目標を掲げPDCAを繰り返す	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	代表取締役

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する	通年	本社工場
		プラント運転管理者の技術の向上		
	(2) 業務車両のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用	通年	業務部
		管理体制の強化		
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善	通年	倉橋工場
		管理体制の強化		
(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部	
(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室	
(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部	
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場
		設備更新の計画書作成		
	(3) 施設の改善	老朽化設備の更新計画の作成と実施	通年	倉橋工場
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場	
(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部	
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生日の人をお祝いする	通年	総務部
		永年勤続者の表彰		
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部
		家族見学会の企画・実施		
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
(6) 福利厚生への拡充	社内サークルの運営	通年	実行委員	
(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部	
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一付けの推進	通年	全部署
毎週金曜日の清掃活動				
(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局	
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境経営レポートの発行	10月中に53期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

作成日 2020年9月18日

(2) 中期環境目標

取り組み事項		55期 (2021年10月～ 2022年9月)	56期 (2022年10月～ 2023年9月)	57期 (2023年10月～ 2024年9月)
全体	CO ₂ 総排出量 (基準年50期～52期平均)	1,337.4	1,324.0	1,311.0
	CO ₂ 排出量の削減 (基準年50期～52期平均)	0.1%削減	0.1%削減	0.1%削減
本社工場	回転炉床A重油使用CO ₂ の削減(t-CO ₂)	197.2	197.2	197.2
	回転炉床A重油使用量の削減(ℓ)	72,777	72,777	72,777
	ロータリーキルンA重油使用CO ₂ の削減(t-CO ₂)	184.6	184.6	184.6
	ロータリーキルンA重油使用量の削減(ℓ)	68,139	68,139	68,139
	回転炉床電力使用CO ₂ の削減(t-CO ₂)	238.7	238.7	238.7
	回転炉床電力使用量の削減(kWh)	343,930	343,930	343,930
業務部	業務車両CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	251.7	246.7	244.2
営業部	営業車両CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	20.1	19.9	19.3
	営業車両ガソリン使用量の削減(ℓ)	8,658	8,577	8,319
事務所	電力使用CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	38.1	37.7	31.5
	電力使用量の削減(kWh)	54,899	54,322	53,779
倉橋工場	倉橋工場軽油使用のCO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	74.5	73.8	73.1
	倉橋工場軽油使用量の削減(ℓ)	28,388	28,140	27,901
	倉橋工場電力使用CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	123.4	122.2	102.0
	倉橋工場電力使用量の削減(kWh)	177,810	176,081	174,320
本社工場	化学物質(セメント)使用量の削減(t)	1,842	1,824	1,824
	化学物質(苛性ソーダ)使用量の削減(ℓ)	80,000	72,000	64,800
	化学物質(PAC)使用量の削減(ℓ)	1,000	1,000	1,000
本社工場	水使用量の削減(m ³)	24,699	24,452	24,207
倉橋工場	水使用量の削減(m ³)	292	289	286

※本社工場・業務部・営業部は目標達成が3年連続で未達成ですので見直しを行いました。基準年を50期から52期の過去3年の平均値を基に見直しをして選定しています。

※本社工場の目標はこれ以上のCO₂排出量を増やさないことを目標に努めていきます。

※倉橋工場・事務所の取り組みは、52期中期計画を基に選定しています。

※55期以降の電力CO₂削減目標値は、排出係数0.585kg-CO₂/kWhを使用しています。(中国電力公表値)

※3年ごとに最新の電力排出係数の見直しをしていきます。

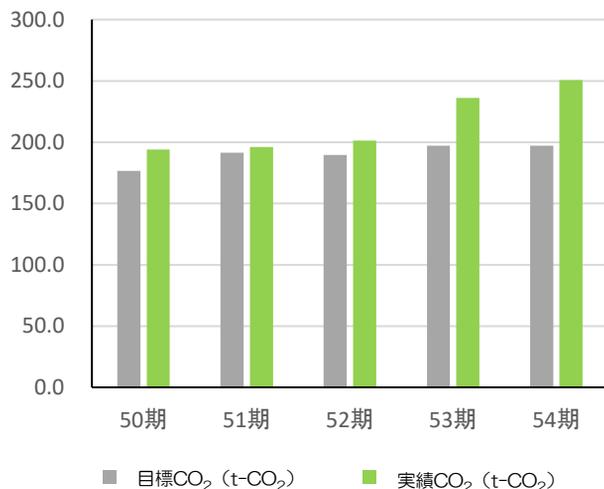
※目標に対する実績が未達成の場合、その実績を基に見直しを検討します。

※化学物質使用量目標値は49期～52期の平均値を元に算出しています。

※全体CO₂排出量は取り組み事項以外の企業活動全体を含みますので、数値は一致しません。

(1) 本社工場の取り組み

回転炉床 A重油使用量



【取り組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 毎月の個人別目標達成表を掲示して焼却炉運転管理者の意識向上に努めました。
- 廃棄物を破砕する際に、燃焼効率を考え、カロリーが均一になるように選別し破砕することに努めました。

【実績・評価】

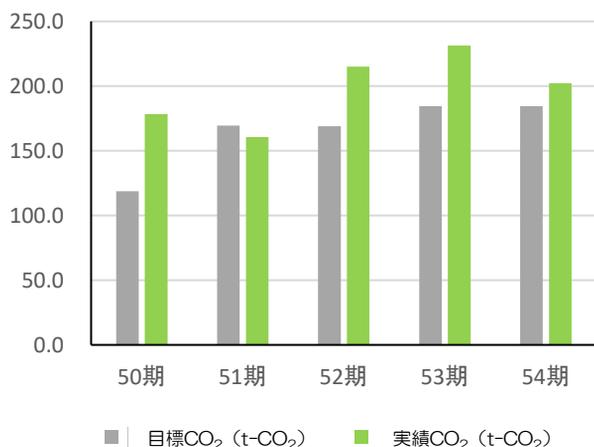
- 目標197.2 t-CO₂に対して実績250.7 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
- 安全面を考慮して、焼却炉立ち上げ時に炉内温度が安定するまでA重油を多く使用するように管理体制を見直した結果、使用量が増加しました。

【今後】

- 月末にしている進捗状況の見直しを毎週へと頻度を増やしてこまめに是正をします。
- 安全面を考慮しつつ削減できるデータ管理とマニュアル作りに努めます。

CO ₂ 排出量 回転炉床式焼却炉 A重油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	197.2	250.7		
	ℓ	72,777	92,509		

ロータリーキルン A重油使用量



【取り組み】

- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 汚泥の在庫量の管理を強化し、効率の良い運転管理に努めました。

【実績・評価】

- 目標184.6 t-CO₂に対して、実績202.3 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
- 施設の稼働率が53期より20%減少することで、53期よりは29.3 t-CO₂排出量が減少しました。

【今後】

- 搬入量により稼働状況は左右しますが、少しでもA重油使用量の削減に努めます。
- 老朽している設備を改修して、効率の良い運転管理に努めます。

CO ₂ 排出量 ロータリーキルン炉 A重油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	184.6	202.3		
	ℓ	68,139	74,674		

13 気候変動に具体的な対策を

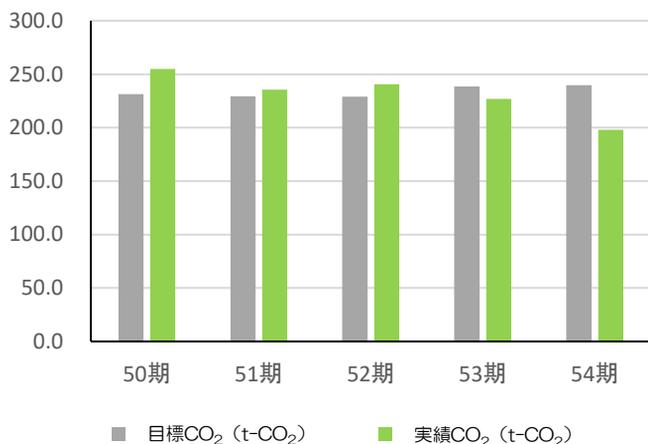
13 気候変動に具体的な対策を



【本社工場の取り組み】

- 回転炉床式及びロータリーキルンの温度管理を徹底することで、A重油使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

回転炉床 電力使用量



【取り組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 電力の消費を抑えるため、設備更新時には省エネ機器を導入するように努めました。
- 施設内の照明でLED化出来る箇所をピックアップし、更新を行いました。

【実績・評価】

- 目標238.7 t-CO₂に対して実績198.1 t-CO₂と目標達成できました。
- 既各機器インバータの調整やオイル交換を適正期間で定期的に行いました。
- 前期同様、照明のLED化を進めました。

【今後】

- 引き続き省エネ機器の導入と照明のLED化を順次実施し、55期も目標達成を目指します。

CO ₂ 排出量 回転炉床式焼却炉 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	238.7	198.1		
	kWh	343,930	338,706		

13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に
具体的な対策を



【本社工場の取り組み】

- 回転炉床式の機器は使用時以外ブレーカーを落として待機電力にも注意を払い、電力使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

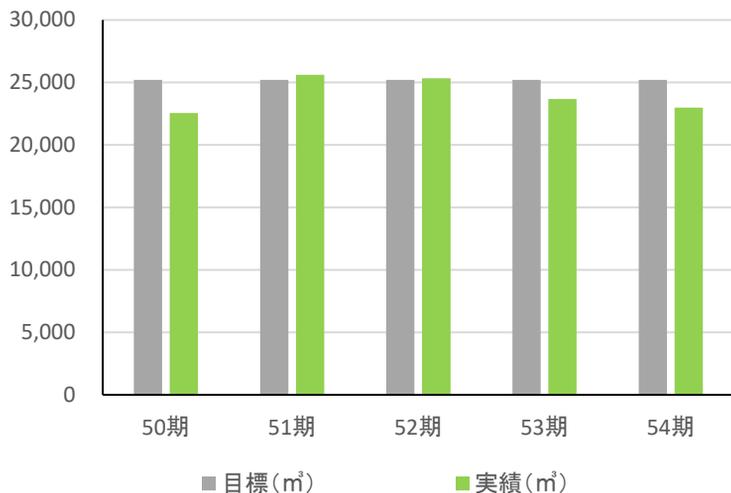


LED照明



インバータ調整の様子

回転炉床 用水使用量



【取り組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。

【実績・評価】

- 目標24,948m³に対して22,978m³と目標達成できました。
- 点検作業時の水の入替えを止めて再利用することで目標達成できました。

【今後】

- 場内全般の更なる節水への意識付けと用水タンクの更新を実施し今後も目標達成を目指します。

回転炉床式焼却炉 用水	単位	目標	実績	削減率	
	m³	24,948	22,978	7.9%削減	

6 安全な水とトイレを世界中に



【本社工場の取り組み】

- 本社工場では、焼却炉の洗浄等で使用される用水を排水処理施設で再処理して、焼却炉冷却や車両洗浄、場内の洗浄清掃に使用して節水に努めています。

化学物質使用量

セメント 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	t	1,861	1,180	36.6%削減	
苛性ソーダ 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	ℓ	95,040	88,000	7.4%削減	
PAC 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	ℓ	2,475	900	63.6%削減	

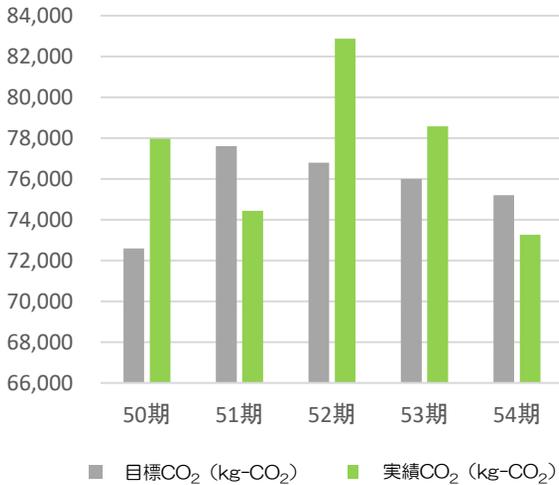
電力・用水使用量は目標達成できましたが、A重油使用量が目標未達となりました。A重油使用量は目標未達が続いており、試行錯誤を重ね運転管理を行っていますが、良い結果につながっていない現状です。今期炉床管理者が増員され成長してきていることと、来期は設備の大規模な改修が行われるという好条件が整いましたので引き続き、管理者全員で問題意識を共有し、知恵を出し合い、少しでもA重油使用量を削減できるよう努力を続けていきます。



本社工場 藤井主任

(2) 倉橋工場の取り組み

倉橋工場 軽油使用量



【取り組み】

- 冬場の処理方法を改善し、無駄な重機の稼働を抑えました。
- 過剰在庫を適正化し、無駄な作業工程の削減に努めました。
- 肥料配達にかかる燃料消費を抑えるため配達の日程調整を工夫し、出荷を効率化できるようサービス内容を見直すなどの取り組みをしました。
- 燃費の良い油圧ショベルに更新しました。

【実績・評価】

- 目標75,200kg-CO₂に対して、73,266kg-CO₂と目標を達成できました。
- 過剰在庫が適正化され、場内スペースを有効活用できるようになったことで無駄な作業工程が削減され、重機の使用量を減らすことができました。
- 肥料の出荷増に伴い肥料運搬にかかる燃料消費が若干増えたにもかかわらず、トータルの使用量を前年度比約2,000ℓ削減することができました。
- 油圧ショベルの更新により燃費が20%程度改善されました。

【今後】

- 適正在庫の維持管理に努めるとともに様々な角度から作業を見直し、更なる改善に取り組みます。

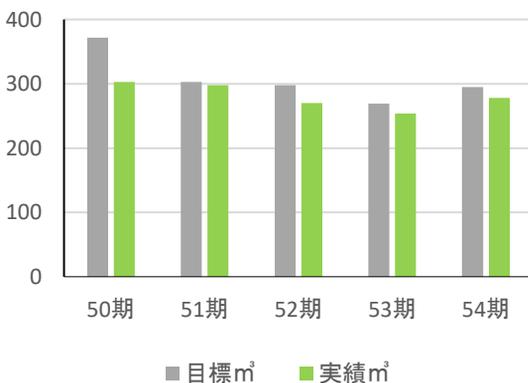
CO ₂ 排出量 軽油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	75,200	73,266		
	ℓ	28,655	27,918		

13 気候変動に具体的な対策を

【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、作業工程の見直し等によりムダを取り除くことで電力使用量を削減し、温室効果ガス排出量抑制に努めています。

倉橋工場 水使用量



【取り組み】

- 洗車をされる搬入業者様へ節水のご協力をお願い掛けました。

【実績・評価】

- 目標295m³に対して、278m³と目標を達成できました。
- 目標は達成できましたが、前年度比では搬入量が増えたためその分洗車回数も増え、使用量が増えました。

【今後】

- 自社漏水などの異常に速やかに気付けるように、日々のメーター(使用量)チェックの意義を改めて全従業員に周知するとともに、引き続き搬入業者様へ節水のご協力を粘り強く呼び掛けていきます。

水道水	単位	目標	実績	削減率	
	m ³	295	278	5.8%削減	

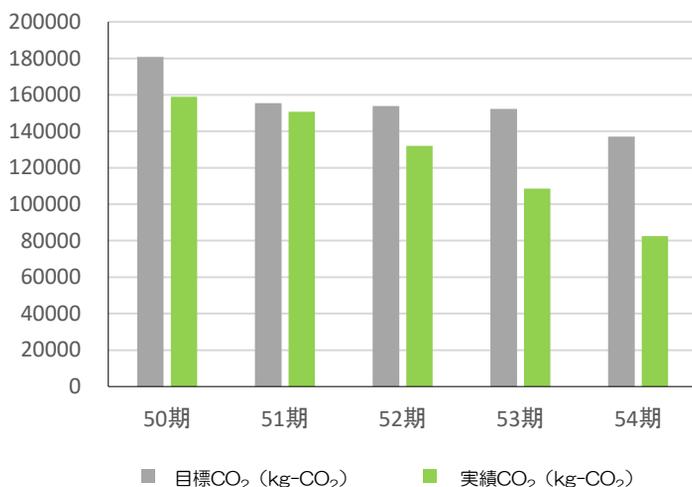
6 安全な水とトイレを世界中に

【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、重機や車両洗車に使用する水使用量の節水に努めています。



倉橋工場 電力使用量



【取り組み】

●昨年度導入した送風機のインバータ制御装置を活用し、発酵状況、外気温等の変化に応じた風量(周波数)調節を行いました。

【実績・評価】

●目標137,100kg-CO₂に対して82,455kg-CO₂と目標を達成できました。
●汚泥の処理方法が確立されてきたことで季節変化に合わせた、より適切な風量調節が可能になり始めました。

【今後】

●処理方法が確立されてきたことで削減余地が小さくなりつつありますが、少しでも削減していけるよう小さな改善を積み重ねていきます。

CO ₂ 排出量 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率
	kg-CO ₂	137,100	82,455	
	kWh	197,550	140,949	



13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に具体的な対策を



【倉橋工場の取り組み】

●倉橋工場では、設備を更新し電力使用量削減と業務改善を両立して温室効果ガス排出量抑制に努めています。



新車油圧ショベル



小型送風機用インバータ

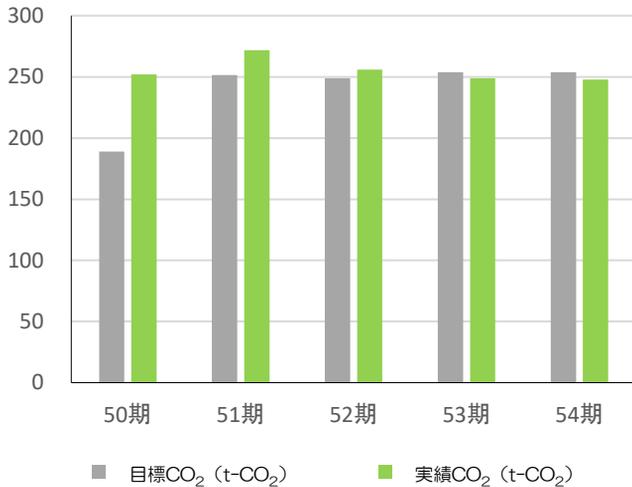
今期も着実に電力使用量を削減することができました。また、過剰在庫の適正化に取り組んだ結果作業工程を改善することができ、軽油使用量の削減という成果に結びつけることができました。今後は小さな改善を積み重ねて安定感のある維持管理に努めつつ、時代(環境、価値、技術など)の変化にも注視して、臨機応変な対応ができるよう心掛けたいと思います。



倉橋工場 石津工場長

(3) 業務部の取り組み

業務車両 燃料使用量



【取り組み】

- 毎月の軽油、ガソリンの使用量を集計しました。
- 毎月の走行距離、特殊車両はアワメーターを集計し、適正期間にグリスアップ、オイル交換を実施しました。
- 毎月1回の業務会議で使用量、燃費、燃料代、削減案等の情報を共有し、削減のために何が必要か全員で検討、実施しました。

【実績・評価】

- 目標254.2 t-CO₂に対し、248.4 t-CO₂と目標達成できました。
- 安全衛生の観点から、夏場の熱中症対策としてエアコンの使用を推進したため、燃費は53期とほぼ同じとなりました。

【今後】

- 使用量の削減、維持管理、修繕の効率化に努めます。
- 月に数台、車両をピックアップし車両美化（サビ落とし、塗装、タッチアップ等）に努めます。また、その取り組みを継続させていきます。
- 月1回の業務会議での情報共有を引き続き行い、削減の為に何が必要か考え、実行していきます。

CO ₂ 排出量 燃料	単位	目標	実績	削減率	
	t-CO ₂	254.2	248.4	2.3%削減	

13 気候変動に具体的な対策を

【業務部の取り組み】

- 業務部では、アイドリングストップはもちろんのこと定期メンテナンスによる燃費向上を目指し燃料使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

54期は、バッテリー交換やタイヤのパンク等軽微な故障が多かったように思います。小さな変化、故障に気がついていけるようにしていきたいと思います。
月1回の業務会議での燃費報告も定着し、削減するために何が出来るか考えるようになってきました。これからも継続して取り組んでまいります。



業務部 水田課長

業務部 建設工事

【取り組み】

- 排水処理槽の腐食箇所の防食工事を行いました。

【実績・評価】

- 工事件数は6件で、53期より3件減りました。
- 売上高は114,939千円で、53期より34,309千円減少しました。
- 汚泥他29.88 tを全量リサイクルしたことで廃棄物量は0でした。
- 現場事務所や工事時に使用した軽油等によるCO₂排出量は9,000kg-CO₂でした。
- 事務所を留守にする時に必ず電気を消すなど、当たり前の取り組みをして日々環境負荷軽減に努めました。

【今後】

- 建設工事で発生する廃棄物をできる限りリサイクルするとともに、エネルギー使用量を極力抑え、環境負荷の軽減に努めていきます。

【防食工事概要】

●下水処理場における、長年の使用によって腐食が激しくなっている箇所に防食処置を施す工事です。事前調査に基づき、既存コンクリートの腐食・劣化の程度によって、補修のレベルを決定します。(コンクリートの劣化部除去厚、修復厚、防食材料の種類等) 超高压洗浄にて、既存コンクリート劣化部を除去し、除去前の断面まで耐硫酸モルタルを塗布し、埋め戻した後、防食ライニングを施します。

エネルギー 使用量	ガソリン	軽油	電力	水	CO ₂ 排出量
	126ℓ	3,043ℓ	1242Kwh	0m ³	9,000kg-CO ₂

活動規模	単位	54期	リサイクル量 (t)	廃棄物量 (t)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
工事の件数	件	6	29.88	0	9,000
売上高	千円	114,939			
品種	廃プラ	有機汚泥	無機汚泥	紙くず	金属
廃棄物量	-	-	-	-	-
リサイクル量	880kg	12,110kg	14,240kg	90kg	2,560kg



超高压洗浄の様子



耐酸モルタル塗布の様子



防食作業の様子



工事完了の状況

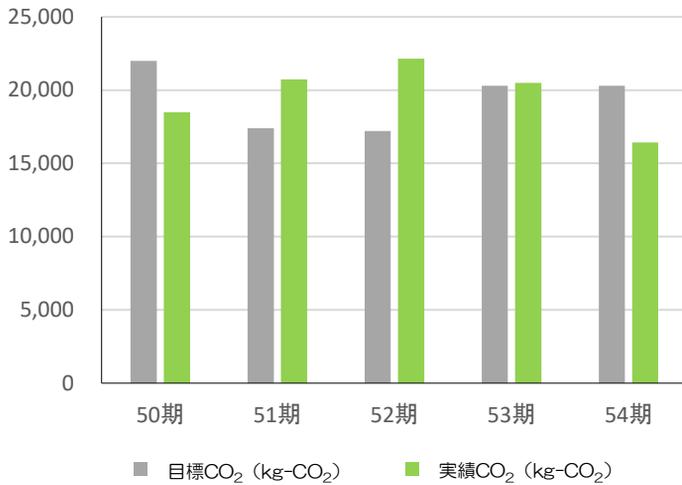
防食工事におきましては、仮設足場上での高所作業が基本となるため、墜落・落下災害防止に努めました。また、新型コロナウイルス感染防止のため、現場事務所、作業員休憩室での3密対策や、作業場所につきましても、作業員同士の距離を保つように心掛けています。不必要な電源使用や、照明を間引くことで、今後も環境対策を行ってまいります。



業務部 藤元課長

(4) 営業部の取り組み

営業部 ガソリン使用量



【取り組み】

- 月末に各営業車の走行距離を集計、ガソリン使用量・燃費を確認し、先月との比較を行いました。
- ガソリン使用量削減を目的として、定期的なタイヤの空気圧チェックを行いました。
- 営業の効率化と無駄な走行の低減の為、営業の帰り便を利用して廃棄物の小口収集を行いました。
- 各自週間行動計画表を作成し、営業場所への効率的なルートを選定し、エリアを集中して営業しました。
- 低燃費車両(エコカー)に入れ替えを行いました。

【実績・評価】

- 目標20,30kg-CO₂に対して、16,430kg-CO₂と目標達成できました。
- 今期中より営業車が1台減車しました。その為、ガソリン使用料とCO₂排出量が減少しました。

【今後】

- 重複した営業ルートの見直しを行い、無駄な移動を無くしていくことでCO₂削減を目指していきます。

CO ₂ 排出量 ガソリン	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率
	kg-CO ₂	20,301	16,430	
ℓ	8,744	7,077		



エコカー導入

車種	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
アリア	170017	172015	174897	177118	179011									8994
広島502	2998	1882	2221	1893										8094
広島697	15872	7513	11427	923										10134
燃費 (k.m/ℓ)	18.88861	25.04325	10.41043	35.31953										22.89476

データ入力シート

13 気候変動に具体的な対策を

【営業部の取り組み】

- 営業部では、アイドリングストップはもちろん、定期的に低燃費車両に入れ替えをし、ガソリン使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

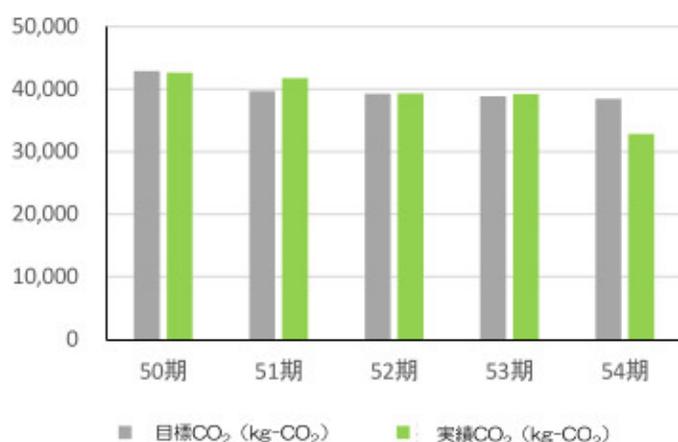
お客様訪問は不可欠な為、ガソリン使用量・移動の削減は難しい点があります。これまで行ってきました各自週間行動計画表作成の継続と事後の見直しをする事で、少しでも無駄な行動を無くしていきます。各営業でガソリン使用量・移動距離の集計、把握することでエコ運転の意識を向上させ、55期もガソリン使用量削減に努めます。



営業部 福原係長

(5) 総務部の取り組み

事務所 電力使用量



【取り組み】

- 事務所内照明のこまめな消灯やエアコン設定温度の確認を行い、省エネ活動に努めました。

【実績・評価】

- 目標38,500kg-CO₂に対して、実績32,857kg-CO₂と目標達成できました。
- 排出係数見直しのため、目標達成となりました。使用量は前期より0.7%削減できました。
- コロナ感染症対策として、定期的に窓を開ける換気を行った事で、エアコン使用量は増加しましたが、PCの入れ替えなどの取り組みで全体の使用量は抑えられました。

【今後】

- こまめな節電やエアコンの定期的なフィルター掃除を引き続き継続して行い、電力使用量削減に取り組んでいきます。

CO ₂ 排出量 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率
	kg-CO ₂	38,500	32,857	
kWh	55,476	56,165		

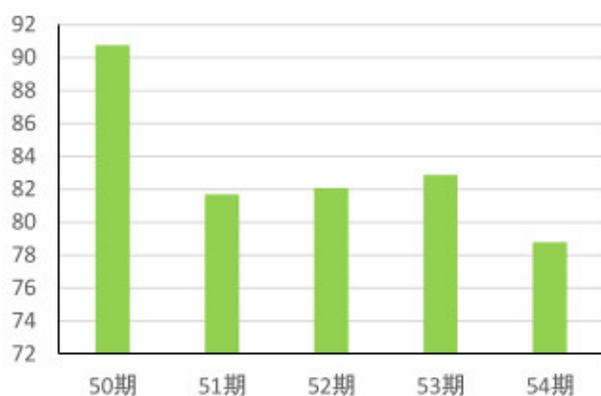


13 気候変動に具体的な対策を

【総務部の取り組み】

- 総務部では、事務所内のこまめな節電と快適な仕事環境を両立し、温室効果ガス排出量抑制にも努めています。

グリーン購入率(%)



【取り組み】

- 環境対応商品を優先して購入してもらうために、啓発活動を行い社員への意識付けを行いました。

【実績・評価】

- 53期の82.87%に対して、54期は78.80%と購入率は減少しました。
- コピー用紙等は100%再生品を購入しています。
- 環境配慮商品が無い物以外はほぼ100%グリーン購入を継続しています。

【今後】

- 環境対応商品を購入しているか、チェックする取組みを継続していきます。



12 つくる責任つかう責任

【総務部の取り組み】

- 総務部では、物品購入を管理し、環境対応商品か否かを確認して購入しています。

54期の電力使用量は目標に対して削減という結果となりました。事務所電力は繁忙期や気温に左右されますが、感染症対策と電力使用量削減を両立させ、今後も目標を達成できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



総務部 山田主任

(6) 環境計量室の取り組み

環境分析

場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場（回転炉床式焼却炉）	ばいじん	g/m ³ N	0.01	0.25	2020/11/2
	塩化水素	mg/m ³	7	700	2020/11/2
	硫酸酸化物	m ³ /h	定量下限値未滿	5.7	2020/11/2
	窒素酸化物	ppm	46	-	2020/11/2
	全水銀濃度	μg/m ³	1.4	50	2020/11/2
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.061	10	2020/11/2
	臭気	臭気指数	19	31	2021/5/11
本社工場（ロータリーキルン炉）	ばいじん	g/m ³ N	0.031	0.25	2020/11/24
	塩化水素	mg/m ³	定量下限値未滿	3	2020/11/24
	硫酸酸化物	m ³ /h	0.4	4.8	2020/11/24
	窒素酸化物	ppm	82	-	2020/11/24
	全水銀濃度	μg/m ³	0.59	50	2020/11/24
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.0065	10	2020/11/24
	臭気	臭気指数	29	37	2021/5/18
本社工場（環境放流水）	BOD	mg/ℓ	7.0		2021/7/28
	COD	mg/ℓ	35		2021/7/28
	SS	mg/ℓ	7		2020/6/23

* 窒素酸化物の規制値は施設が小規模なため規制はかかっておりません。
* 環境放流水は、外部への放流をしていないため規制はかかっておりません。
(測定機関)

- 本社工場（回転炉床式焼却炉）：(株)エヌ・イーサポート
- 本社工場（ロータリーキルン炉）：(株)エヌ・イーサポート
- 本社工場（環境放流水）：(株)カンサイ

作業環境測定	
場 所	管理区分
本社工場（回転炉床式焼却炉）	第1管理区分
本社工場（ロータリーキルン炉）	第1管理区分

(測定機関)

- MHIソリューションテクノロジーズ



測定の様子

【行政測定結果】

- 11月16日に広島市の行政測定が実施され以下のように基準に適合しました。

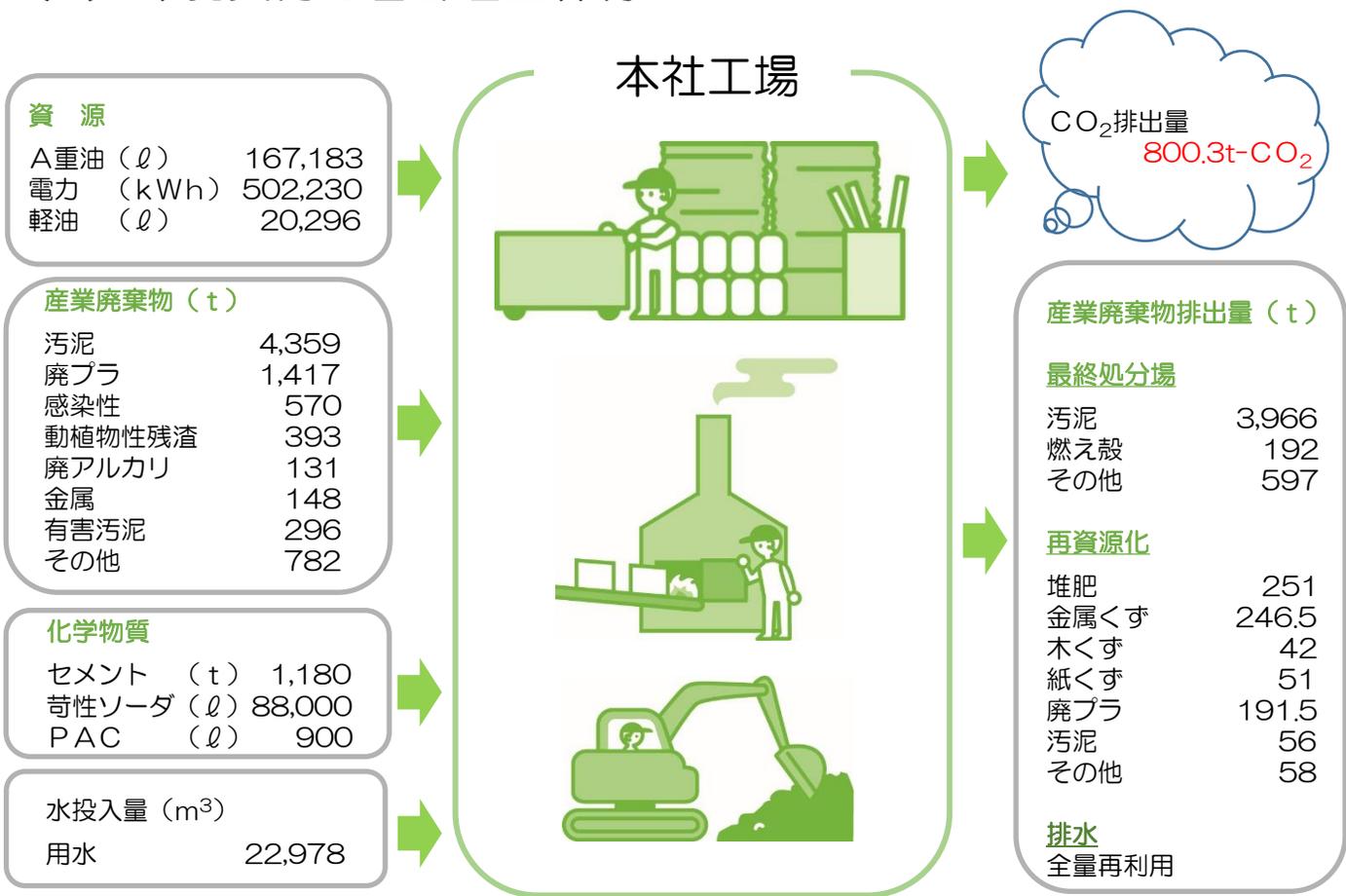
場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場 (ロータリーキルン炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.024	0.25	2020/11/16
	塩化水素	mg/m ³	0.9	700	2020/11/16
	硫酸酸化物	m ³ /h	0.44	5.7	2020/11/16
	窒素酸化物	ppm	110	-	2020/11/16
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.00019	10	2020/11/16

環境の各法令に基づき大気・水質の分析を実施しています。上記分析結果の通り回転炉床式焼却炉及びロータリーキルン炉の大気汚染規制物質・ダイオキシン類及び臭気指数は、規制基準値以下でした。また、作業環境測定（ダイオキシン類）においても第1管理区分と良好な結果が得られました。今後も引き続き施設管理の適正評価を実施して行きます。

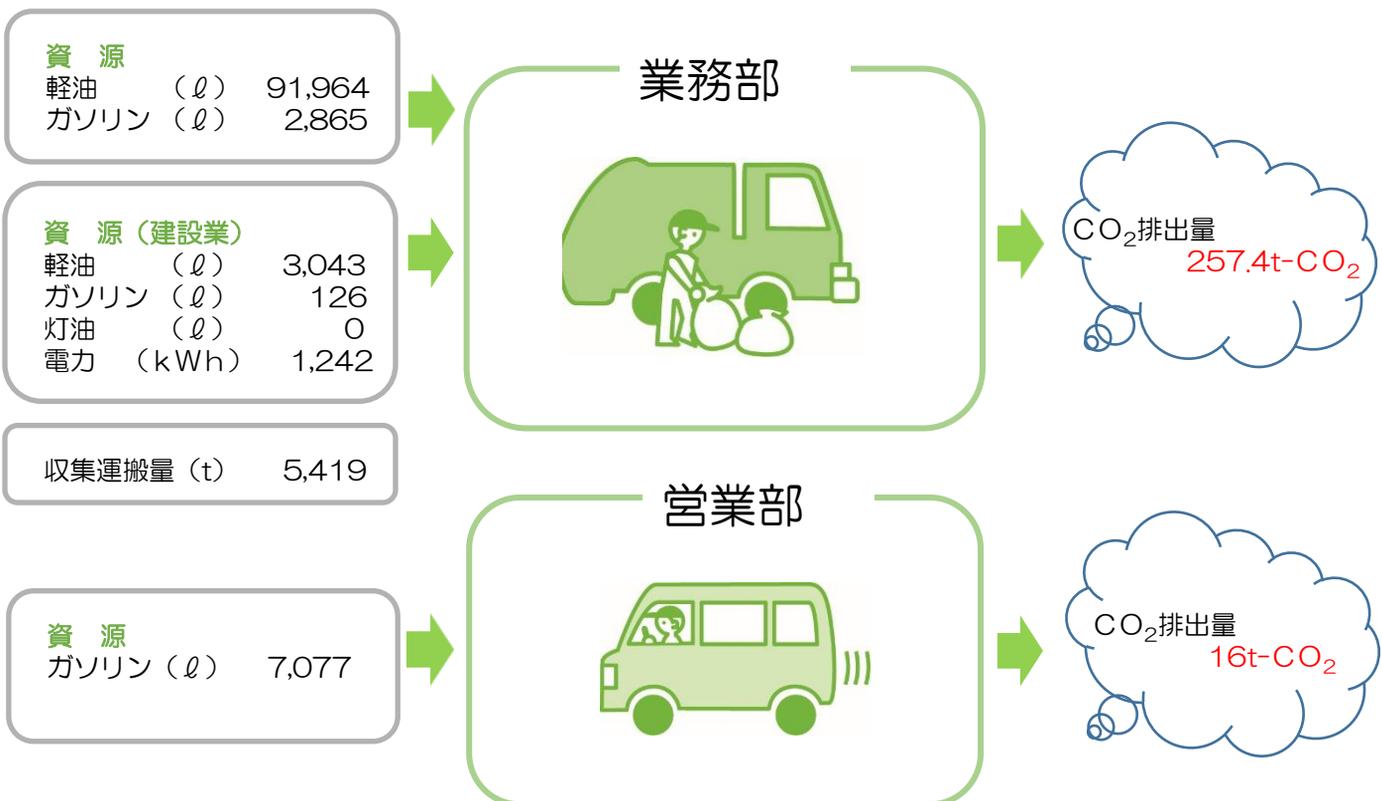


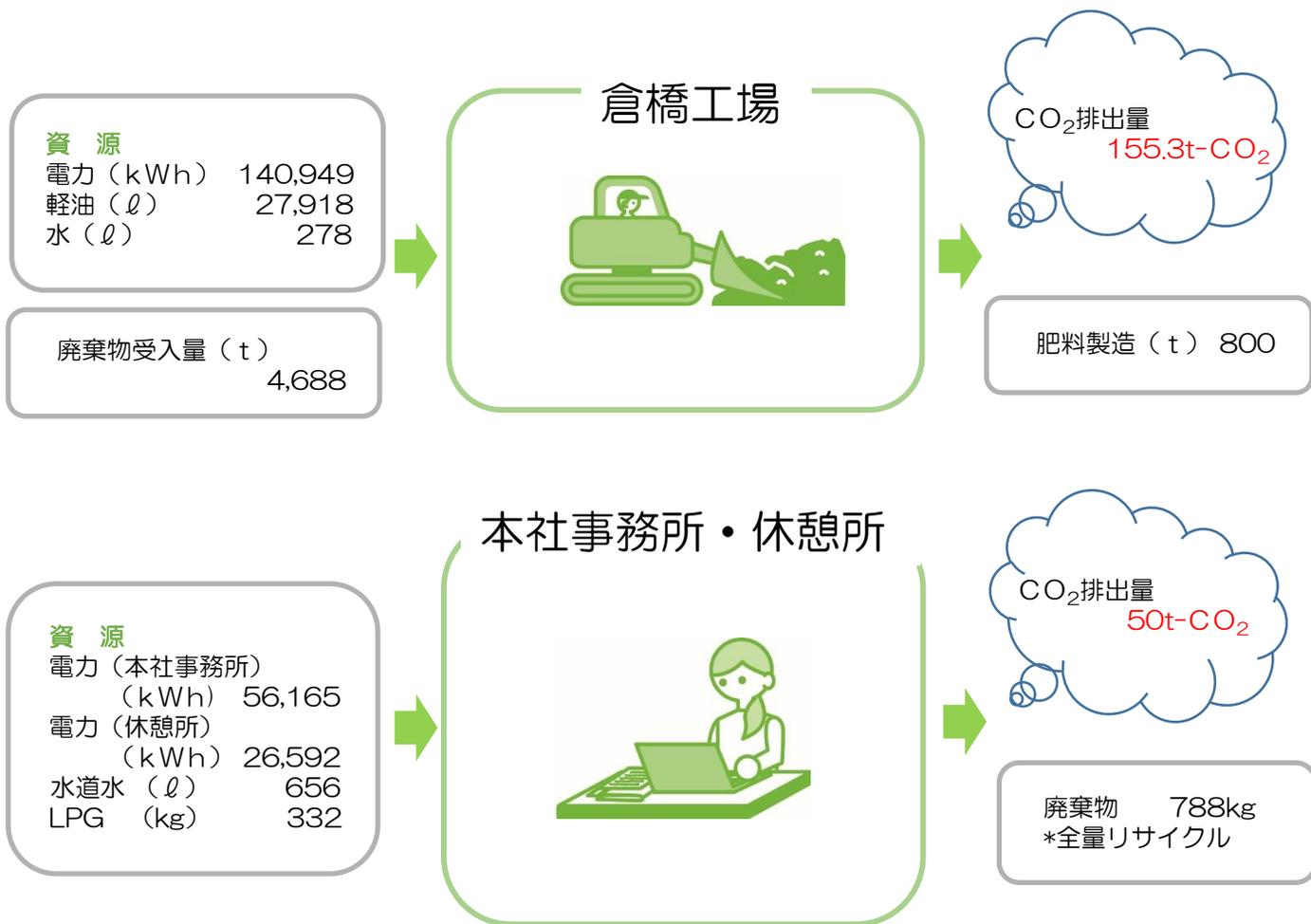
環境計量室 道方室長

(7) 環境負荷の各部署全体像

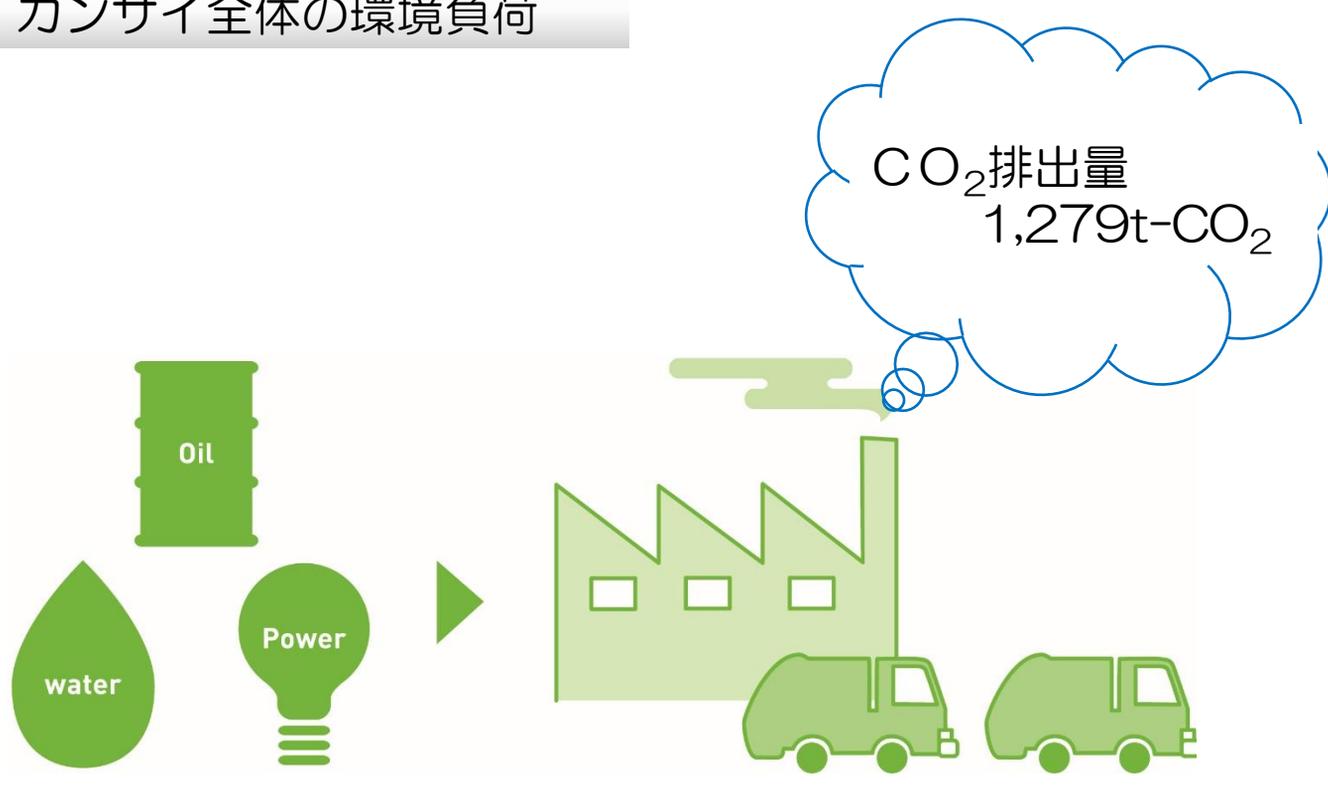


*本社工場は、リサイクルが困難な廃棄物を積極的に受入れています。従ってリサイクル率が11.1% (53期14.2%)と低いのですが、今後もリサイクル困難廃棄物を可能な限り分別してリサイクル率向上に努めます。





カンサイ全体の環境負荷



（1）本社工場の取り組み

【取り組み】

- 施設の改善として、搬入物仮置き場の改善工事を実施しました。
- 在庫管理の強化として、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成し実行しました。あわせて毎月1日に定点観測をしました。
- 各環境測定として、54期もダイオキシン測定をはじめ各環境測定を実施しました。
- 一年間無事故無災害として、指差し確認の啓発と熱中症対策をしました。

【実績・評価】

- 施設の改善では、搬入物の仮置き場に色別ラインを引き、一目で識別できるように改善しました。また、老朽化した清水タンクの改修工事を行いました。
- 在庫管理強化では、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成することで、廃棄物が滞ることがなくなりました。また、毎月定点観測することで客観的に在庫状況が把握でき、先入れ先出しが容易にできるようになりました。
- 各環境測定を実施し測定結果は基準値以下でした。詳しいデータは20ページに掲載しています。
- 一年間無事故無災害では、朝礼での危険予知活動の継続と指差し確認の徹底と、夏場の熱中症対策として、経口補水液を焼却炉操作室に常備しました。また、作業手順書を改正しました。

【今後】

- 施設の改善として、焼却炉改修工事のスケジュールを立てて取り組んでいきます。
- 在庫管理として、定点観測資料を活用して廃棄物の定位置を決め定量管理をして、効率よく仕事ができるように努めていきます。
- 一年間無事故無災害として、今までの取り組みを継続することと、廃棄物における危険性を再教育して無事故無災害に取り組んでいきます。



色別ライン



清水タンク改修工事の様子



経口補水液の常備

54期は、老朽化した清水タンクの更新をしたことで、水漏れの心配もなくなりました。搬入物仮置き場には、色別ラインを引いて一目で廃棄物が分かるようにしました。

また、1名増員されたことで、無駄な残業が減り一人ひとりの健康面も改善され働きやすい職場になりました。今後も些細なことでも改善し、良い職場にしていきます。



環境事業部 森中主任

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み】

- 夏期の熱中症予防のため空調服を導入しました。
- 清掃時の作業負担軽減および社内美化のためエンジンブローを導入しました。

【実績・評価】

- 強い日差しの下での屋外作業や熱気の籠った無風状態の屋内作業における身体への負担を軽減することができました。
- 竹ぼうきなどでは掃ききれなかった細かい粉塵まできれいにする事ができ、場内美化と作業の効率化を両立できました。

【今後】

- 現場の声を積極的に活かして環境および作業性の改善に取り組んでいきます。



清掃作業の様子

(3) 業務部の取り組み

【取り組み】

- 一年間無事故・無災害を目標に、朝礼でKYKミーティングを行いました。また、多種多様な業務に於ける情報共有のために、月一回の業務会議を継続して開催しました。
- 飲酒運転の防止として、毎朝のアルコールチェックを行いました。
- 下水処理場の地下ピット作業に於ける墜落・落下災害防止措置として、開口部養生を新たに導入しました。

【実績・評価】

- 無事故・無災害では、労災が1件、接触事故が2件起きました。事故の原因究明と今後の対応を業務会議で議論し共有しました。
- アルコールチェックでは54期に於いても検出者は0人でした。

【今後】

- 無事故・無災害を達成するために、危険予知活動を強化していきます。毎朝のKYKミーティングのほか、情報共有の場を増やし、リスクアセスメントを行います。
- 資機材および倉庫の5S活動の推進を行います。



朝礼の様子



開口部養生

6 安全な水とトイレを世界中に

【業務部の取り組み】

- 業務部では、下水処理場や上水場の処理設備の清掃・補修により安全な水とトイレの維持に貢献しています。

54期は無事故・無災害を達成できませんでしたが、事故件数は減りました。引き続き安全啓発活動を行い、ゼロを目指します。55期に於いては、部内のコミュニケーション不足を課題として挙げ、情報共有ツールを導入し、活用することにより、ムリ・ムダを減らし、より安全な業務を行っていきたいと考えます。



業務部 藤元課長



(4) 環境計量室の取り組み

【取り組み】

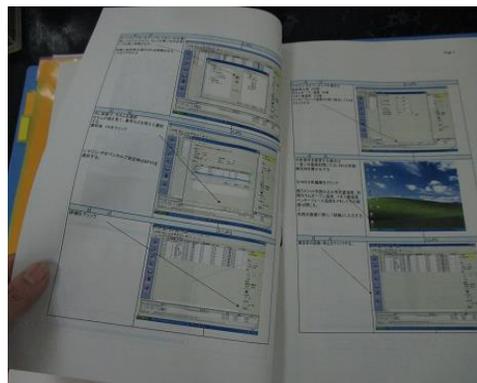
- 本社屋周辺の土壌および地下水汚染の有無を調査するため、年1回観測井戸調査を実施しました。
- 本社屋合併浄化槽水質検査を年2回実施しました。
- 本社工場の処理水(外部への放流なし)は、自主基準値を設け、有害物質を含む38項目の分析を年2回実施しました。
- 本社工場から最終処分場へ搬出される汚泥や燃え殻を、埋立基準に適合するか否かを判定するために有害物質の分析を実施しました。
- 太陽光発電を利用した省エネタイプ(シリコンチューブによる浄化システム)の浄化槽の水質検査を定期的(月2回)に実施しました。
- 分析技術向上のため、環境省主催の外部精度管理に参加しました。
- 分析上の手順書(SOP・分析機器の操作マニュアル)を適宜見直し更新しました。
- 薬品の管理、特に劇物毒物のチェックを毎月行い、薬品の漏洩等の事故防止に努めました。

【実績・評価】

- 本社屋および本社工場の水質検査結果は共に排出基準値および自社基準値を下回る値でした。
- 省エネタイプの浄化槽は水質検査結果から運転良好でした。
- 環境省主催の外部精度管理の結果は適合(棄却検定範囲内)でした。
- 劇物毒物の管理チェック表を記録保管しました。

【今後】

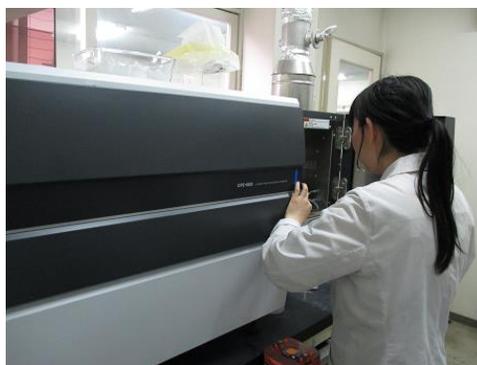
- これまで取り組んできた事柄を継続し、更なる研鑽に勤めていきます。また、新たな課題等を見出し解決していきます。



操作マニュアル



サンプリング業務



分析装置点検の様子

15 陸の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう



【環境計量室の取り組み】

- 分析室では、人と動植物の共生に必要な環境の保全を分析業務を通して、持続可能な自然環境の一翼を担っています。

環境計量室は毎年上記内容の取り組みを行っています。薬品等の適切な管理を行いながら正確さと信頼性の高いデータ提供を心がけ、積極的に外部精度管理に参加し分析者個々の技量の向上に努めてまいります。



環境計量室 道方室長

(1) 営業部の取り組み

【取り組み】

- 家族とのつながりについて、社内報「春夏秋冬」を年2回発行し社員の各家庭及び関係者に郵送しました。
- ステークホルダーとのつながりの拡充では、毎月1回、会社周辺道路の清掃活動を継続して実施しました。
- 見学者の受け入れについて、施設見学時の会社説明のプレゼンを刷新しました。

【実績・評価】

- 社内報は今期も年2回継続して発行しました。今期もコロナウイルス感染対策で家族会などのイベントは中止となりましたが、社員の皆さんにアンケートやコメントを例年より多く頂く事で参加型の社内報となるよう工夫しました。
- 会社周辺道路の清掃活動については、毎月1回の活動を行い、年間可燃ごみ約51kg、空き缶約6kgを回収しました。前期と比較すると可燃ごみが若干の減少となりました。また、冬場の路面凍結時には、融雪剤を散布して周辺の事故防止をしました。
- 会社説明プレゼンの刷新について、コロナ感染対策で見学の受け入れが難しいタイミングで、営業部署内で熟慮を重ね、内容を一新しました。見学に来られる方々に対して、業務内容が伝わりやすく、信頼を頂けるプレゼンになりました。

【今後】

- 年2回の社内報「春夏秋冬」の発行を続けていきます。普段の生活の中で、アンテナを高くし、社員間や家族の方とのコミュニケーションが取れる企画を探していきたいと思ひます。
- 地域清掃活動については、地域社会の一員として環境美化に貢献し、ポイ捨てごみの削減の発信者となるよう継続して行っています。
- 見学者の受け入れについては積極的にいき、満足頂けるより良い施設見学となるよう工夫していきたいと思ひます。



融雪剤散布の様子



カンサイ社内報



11住み続けられるまちづくりを

【営業部の取り組み】

- 営業部は、地域貢献の一環として12年前から継続的に清掃活動に参加し住みやすいまちづくりに貢献しています。

今期もコロナウイルス感染対策で対面による研修や家族会などのイベントは行うことができませんでしたが、每期取り組んでいる社内報の発行については、社員の皆さんにたくさんのコメントを頂いた事で、社員みなさんの普段と違う側面を知ることができ、見学者の受け入れが難しい時期だからこそ会社説明プレゼンの刷新に取り組めた事など、柔軟に目標に向かって取り組めたのではないかと思います。今後も継続することで、社内及びステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めていきたいと思ひます。



営業部 中尾主任

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み】

●部署内のチーム力向上を目指し、1、2か月に1回のペースで部署内ミーティングを実施しました。

【実績・評価】

●自分たちの頭の中を整理しつつ、部署内の多様性を互いに認識することができました。

【今後】

●かしまった仕事の話だけをしても社是でもある「人と人との調和(チーム力の向上)」は育まれないと思いますので、これからも「ゆるめ」のミーティングを継続してレジリエンスの高い部署を目指します。



ミーティング内容

(3) 総務部の取り組み

【取り組み】

●社員とのつながりとして、「永年勤続表彰」と「誕生日にあたる社員のお祝い」を継続して行いました。

●家族を含めたコミュニケーションの場である、「家族会」を企画しました。

●社員間の情報共有として、社内掲示と社内事項の一斉メール配信を継続して行い、情報の共有化を図りました。

●積極的な情報公開として、ホームページ上に環境経営レポートを掲載し、ホームページのお知らせを定期的に更新しました。

【実績・評価】

●54期の「永年勤続表彰」は5名の社員が該当し、お祝いをしました。5名の内、最長者は25年勤続でした。朝礼での授賞式や、受賞者の写真を社内に掲示したことで、本人のみならず他の社員のやりがいや意欲向上につながる取り組みが出来たと思います。

●「誕生日にあたる社員のお祝い」では、誕生日当日に全社員へ一斉メールを配信し、社員本人からのコメントを掲示しました。

●「家族会」はカーブ野球観戦を企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、中止となりました。

●新入社員歓迎会の開催も難しい状況でしたので、新入社員に簡単な自己紹介シートを記入してもらい、社内掲示を行いました。

●54期も引き続き、ホームページのお知らせを定期的に更新し、積極的な情報公開に努めました。

【今後】

●社員からも好評の「永年勤続表彰」と「誕生日にあたる社員のお祝い」は55期も継続して行いたいと思います。「家族会」に関しては、継続して企画はしますが新型コロナウイルスの情報を注視し、開催するか否かを判断していきます。



永年勤続表彰者



自己紹介シート

8 働きがいも経済成長も

【総務部の取り組み】

●総務部は、誕生日のお祝いや家族会などイベントを企画し、社員間のコミュニケーション向上を図り働きやすい職場づくりに努めています。

54期も新型コロナウイルスの影響で、企画していた家族会を中止にしなければならない状況となりました。今回も大変残念ではありますが、問題なく再開出来るような状況になり次第、再開していきたいと思います。また、出来る事は可能な限り継続して行う予定です。



総務部 山田主任

(1) 環境力道場

【環境力道場とは?】

●環境力道場はその名の通り、環境力を身につけることによりカンサイ独自のビジネス展開と持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、皆で道場のごとく意見をぶつけ合い、互いの理解を深め各自の能力向上を図る社員研修です。外部講師（環境文明研究所、加藤三郎先生、藤村コノ卫先生）を招いて実施しています。

【研修内容】

- コロナ禍のためオンラインで開催し、廃棄物業界の最新情報や地球温暖化問題等を幅広く学び、今後の事業展開を模索しました。
- 46期（2013年度）から始まった環境力道場を継続して取り組むことで、知識を知恵に変え、自ら考え行動できる社員を育てています。54期は、環境力道場3期で掲げた各部署ごとの中期目標の検証と新たな課題を掘り起こし、全社員で解決策を出し合っって課題解決に取り組みました。
- 今回も「人間力の向上」をテーマにし、新年の目標を社員一人ひとりが掲げ、途中で振り返りをして取り組みました。
- カンサイが目指す将来像「環境創造総合企業」とは、どのような方向で進むべきか、具体的に実行に移すための議論を始めました。

【今後】

- 日本の削減目標2050年ゼロエミッションに向けての規制強化の情報を注視して今後の事業展開をしていきます。
- 全社員の知恵を結集させて、日々起こる問題やこれまで解決できていない課題の解決策を導きだし、実行していきます。
- 人間力の向上は、社会生活を営む上で重要な要素ですので、今後も継続して取り組んでいきます。
- 環境創造総合企業とは、お客さまのニーズや環境と共に変化していきますので、その時々によ最適な選択ができるような企業体質にしていきます。



オンラインでの様子



新人研修の様子

本社工場の課題と解決策のまとめ

<p>②分別機等設備の有効利用</p>	<p>・焼却炉管理者が増員されたことで日働作業員が1名要るので、作業工程を見直しながら設備の有効活用をしていく</p>	<p>(総務) ・売却も考えてみては? (営業) ・設備の機能による問題か人員配置の問題か明確にする ・分別機が現状受入している廃棄物に充当できるか、新たな需要を生むか検討する ←今までは有効利用できていなかったが、炉床管理しながら分別できる人員も確保できた ●どんなものがどのように分別できるか、炉床に負荷をかけず、どこに売れるか行先まで考えて、これから検証しつつ、仕事の割り振りも決めて、計画的に進めていく ●食品リサイクルの対象はある、その他要望もある</p>
<p>③作業員の作業レベルによる作業の不均衡</p>	<p>・各々の不得意（できない作業）な事を追い求めるのではなく、得意（できる者）な人員で補いながら工場全体で仕事をこなしていく</p>	<p>(業務) ・分業で専門技術を磨いていくのか（権限や責任を付与）、全員がオールマイティ（ローテーション）に作業をこなせるようにしたいのか? (業務、総務、計量室) ・勉強会の開催（工場と業務で） ・必要な資格の明示 ・マニュアル作成で教育の体系化 ・社外からの情報、先進事例、成功事例の見学や講習会 (営業) ・誰が何が得意か不得意かを検証し今後の作業工程を構成していく ・専門的な仕事を全体ではなく、個人で役割を追求した方がよい ・役割分担を固定して、各々に責任を持たせる ←一定レベルを皆でとってやってきたが、個人々の得意不得意があることもわかり、得意分野を中心にやっていくことに皆で相談して決めた ←勉強会よりも実務で教えてもらう方が効率的でわかりやすい ←必要な資格は取っており、困っていることは特段ない。資格は必要な人が持っていればいい ●コロナなどの非常時も現在は停止はない。ただし、今後に備えていく必要は検討</p>

(2) 環境文明塾

【環境文明塾とは】

●持続可能な社会を築くための理念や手段等について様々な業種の多くの仲間と一緒に探求し、それを、明日の企業社会を担い、子どもたちを始めとする次世代に健全な社会を引き継げる人を育てる場でNPO環境文明21が主催するものです。

【取り組み】

●コロナ禍のためオンラインでの開催となりましたが、異業種の方々と活発な議論や意見交換が行われ、持続可能な社会の実現にはいろいろなアプローチの仕方があることを学びました。次回参加予定の者に引き継ぎを行い学びを共有しました。

【今後】

●コロナウイルスの影響でWeb研修になっていますが、東京での再開後は異業種の方と交流を深めて、自社の取り組みに活かしたいと思います。

(3) 全体教育

【人間力の向上】

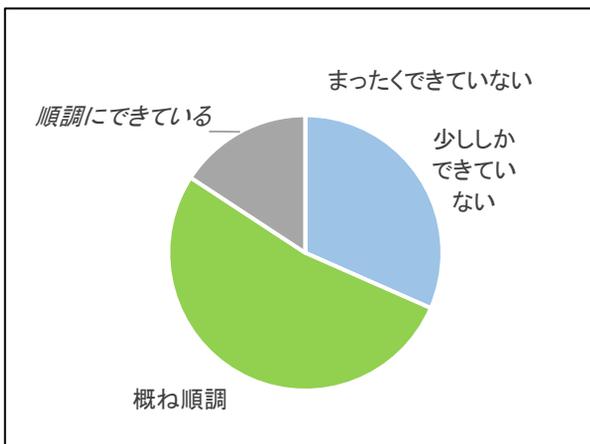
●昨年に続き今年も新年の抱負「人間力の向上」を目標に全社員で取り組みました。

【取り組み】

●各自が「求められる人間力とは何か」を考え目標を掲げ、その目標を元に行動指針を作成しました。
●中間で検証を行いました。その中で、概ね順調・順調にできていると答えた人が84%と最も多く取り組みの成果が出ていました。

【今後】

●55期も引き続き人間力の向上を目標に掲げて、調和のとれた対人関係を築いていきたいと思っています。



(4) 持続可能な社会の基盤として 環境教育を位置づける必要がある

○「環境問題解決のための環境教育」

⇒「持続可能な社会のための環境教育」へ

- 対象の拡大・・・学校教育のみならず、企業、地域、家庭など全ての人が学ぶ仕組み
- 内容の充実・・・「環境」のみならず、経済的視点や人間・社会的視点も追加
- 現場での普及啓発だけでは限界がある

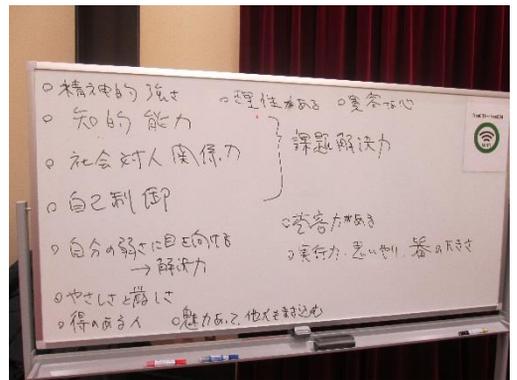
↓

皆が学べる仕組み＝法律をつくらう！

環境文明塾講義内容

新年の抱負 テーマ「人間力の向上」

視野を広げる 読書量を増やし、今まで興味なかったことに目を向ける。 大きな失敗、ケガをしない。 惜れてきた作業も抜けることがないよう確認する。 謙虚で、受容力を身につける。 否定的な思考・言動をしない、その都度標榜の振り返りをする。 相手の背景を慮る事のできる人間を目指す。 読書・芸術鑑賞に好奇心を持ち続け、且つ登山で心身を鍛える。 不届きの精神を鍛える。 一日早起きでと寝る前に五分間の瞑想を行う。 素直さを身につける。 向上心を持ち続け、学んだことを実行する。一日を振り返る。 思いやりの精神を持ち続ける。 一日一日を見直す時間を設ける。 知識を深める。 理解する気持ちを常に持ち、何事も意欲的に取り組む。 日々成長する。 固定概念にとらわれず、色んな事を素直に吸収する。 生かされている事に感謝していく。 ありがたうの言葉と挨拶の励み、言動に気をつける。 他者を尊重する気持ちを対人関係を楽しむ。 何を期待しているのか創造的に考え期待を上回る姿勢で取り組む。 他者に寛容となり、感謝の心を持ち続ける。 一日一回以上、ありがたうを言葉にする。 信用されるような人間になる。 人の悪口を言わないよう心掛ける。	田寺 美佳 宮本 千夏 田原 茂利 橋本 一広 福原 史之 中尾 友暁 沖 昌伸 丸山志津香 大野 知恵 藤岡 広志 金子 美絵 吉村 綾子 山田 佳恵
---	--



人間力のある人とは・・・

4 質の高い教育をみんなに

【組織全体の取り組み】

●カンサイは、OURカンパニーの考えの元に環境力道場や社員研修旅行など多くの社員教育を行っています。会社の宝である社員に各研修を通じ、より良い仕事ができ、より良い生活が送れるよう教育の場を設けています。



(4) 火災訓練

【活動内容】

- 本社工場内で火災が発生した想定で、消火栓を用いた消防訓練を実施しました。
- 緊急対応備品の土のう袋の入替えをしました。
- 総務部・環境計量室の女性社員で、水消火器を使用した火災訓練を実施しました。

【今後】

- 迅速に初期消火ができる体制づくりのため、定期的に訓練を実施していきます。

【感想】

- 消火器を扱うことに少し恐れはありましたが冷静にできました。
- 火災発生時に訓練を活かして初期消火できるようにしたいです。
- 普段、消火器を使用することがないので、良い機会になりました。



消火栓での火災訓練の様子



消火器での火災訓練の様子

(5) カンサイ理念手帳

【カンサイ理念手帳（フィロソフィー）とは】

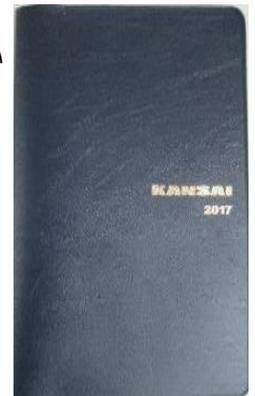
- フィロソフィーとは、日本語で『哲学』のことです。私たちカンサイは、人と人との調和・人と自然との調和を大切にして、全従業員の物心両面の幸せを追求する企業です。

【取り組み】

- 手帳の内容をより浸透させるために、ソフト面的な項目について、各部署でミーティング等により共有を図りました。

【今後】

- 50期に完成した理念手帳の内容を一人ひとりがより深化させて、良いことがあっても悪いことがあっても、カンサイ社員としての判断基準にしていきます。
- この理念手帳はこれで完成ではなく、日々の仕事を通じて得た新しい気付きとともに、今後の目標に向かって社員自らが修正・追加を重ね進化させていきます。



カンサイ理念手帳

(6) セクハラ・パワハラ防止

【セクハラ・パワハラ対策】

- 経営者と顧問弁護士からなる相談窓口を設けセクハラ・パワハラの撲滅に努めています。

【実施内容】

- 54期もハラスメント相談件数が0件でした。

【今後】

- 一人ひとりが行動や言動に注意を払いカンサイからハラスメントの加害者、被害者が出ないように努めていきます。



5 ジェンダー平等を実現しよう

【組織全体の取り組み】

- カンサイは、顧問弁護士によるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントの社員研修を全社員が受講し各種ハラスメントが起きないように努めています。

(7) 手順書

【取り組み】

●エコアクション文書管理内容の雛形の見直しを行いました。

【実績・評価】

●問題処置票の記載項目を簡素化し、問題点はどこに有るのかを明確にしました。

【今後】

●今後も現状に即していない手順等があれば速やかに見直しをしていきます。

様式：19-01
[No.]

問題点 (不適合) 処置票				問題点 (不適合) 処置票			
①問題点の状況概要				②原因調査・処置策			
種別	システム	設備	その他	原因 (真の原因にたどり着くまで掘り下げる):			
発生場所	発生日	発生時		発生処置策 (再発防止) 完成予定日			
問題点 (不適合) の内容:				③対策実施結果報告			
対応処置:				実施状況			
				代表取締役、現場管理責任者の指示:			
				代表取締役(署名)			
承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認	承認
(代表取締役印)	(現場管理責任者)	(印)	(印)	(代表取締役)	(現場管理責任者)	(印)	(印)

※ 55期 アクション事務局

問題処置票雛形

(8) 資格取得

資格名	取得者数 (53期)	取得者数 (54期)	資格名	取得者数 (53期)	取得者数 (54期)
環境計量士	1	1	フルハーネス	0	8
特別管理廃棄物処理業 (処分過程)	1	1	アーク溶接	7	7
特別管理廃棄物処理業 (収集運搬)	1	1	高所作業車	3	3
産業廃棄物処理業 (処分過程)	1	1	特定化学物質等作業主任者	7	7
産業廃棄物処理業 (収集運搬)	1	1	有機溶剤作業主任者	4	4
産業廃棄物焼却施設技術管理士	1	1	玉掛	10	11
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1	1	足場	3	3
作業環境測定士	1	1	車両系建設機械 (整地等)	11	11
臭気判定士	1	1	小型移動式クレーン	8	8
2級土木施工管理技士	5	4	フォークリフト	9	11
計量証明事業主任計量者	1	1	高圧洗浄作業	4	4
一般毒物劇物取扱者	1	1	職長教育	4	4
危険物取扱者 (乙種第4類)	2	2	下水道管路管理技士	1	1
危険物取扱者 (丙種)	1	1	小型ボイラー取扱業務	1	1
第一種安全衛生管理者	5	5	廃棄物の焼却施設に関する業務	4	4
運行管理者	2	2	廃棄物焼却施設 (ダイオキシン類) 作業指揮者	2	2
安全運転管理者	2	2	第二種電気工事士	3	3
二級ボイラー	1	1	ガス溶接	3	3
第二種酸素欠乏危険作業主任者	15	15	車両系建設機械 (解体)	0	5

※退職者等により取得者と取得者数が一致しません。

【取り組み】

●資格取得へのチャレンジでは、本社工場で「車両系建設機械 (解体)」を4名取得しました。
●業務部では「フォークリフト」を2名、「車両系建設機械 (解体)」を1名、「第二種酸素欠乏危険作業主任者」を1名、「玉掛」を1名、「移動式クレーン」を1名、「フルハーネス」を8名取得しました。

【実績・評価】

●必要な技能や教育を計画的に取得することができました。

【今後】

●55期も必要な資格取得はもちろんのこと、社員のレベルアップのため、資格取得にチャレンジしていきたいと思えます。

今期も引き続き新型コロナウイルスの影響を受けた一年でした。昨期同様社内行事はすべて取りやめて、自粛を強いられることとなりました。

その中で、新たな取り組みとして環境力道場をリモートで再開する試みも始めました。ワクチン接種も少しずつ進み、10月現在は新規感染者数も抑えられています。経済活動も徐々に再開されつつあるように、我が社でも可能な取り組みを続け能力の向上に努めていきたいと思えます。



営業部 田原部長

(1) 本社工場の取り組み

【取り組み内容】

- ひとつの作業を確実に行うよう、指差し確認を徹底して行いました。また、工場内に標語を張り出して注意喚起を促しました。
- 啓発のため指差し確認のボードを工場の各所に設置しました。その甲斐あって本社工場では、無災害日数が1947日（10/1現在）を継続しています。
- 毎日の朝礼時に、「報連相」「5S」の復唱をして意識向上に努めると共に、工場内に標語を張り出して注意喚起を促しました。
- 早朝や夜の作業時に、懐中電灯だけでなくヘッドライトを装着し暗い時間帯での事故防止に努めました。
- コンベアでの巻き込まれ防止対策として、現場操作スイッチを作業員が停止しやすい位置に移設をしました。
- 猪が荒らして崩落の危険がある本社工場入口法面を成形してブロックで補強し崩落防止をしました。また、接触事故防止のため進入路を白線で表示しました。
- 半年に一度本社工場に設置してある消火器の清掃と点検をし、設置場所に指定数量の消火器が確実にあるか等の確認を行いました。



指差し確認作業風景



無災害ボード



朝礼の様子



進入路整備の様子



消火器清掃の様子

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み内容】

- 混合機の清掃メンテナンス用足場を設置し、清掃時における労働災害リスクを低減しました。
- 場内の劣化した路面を補修して路面段差による荷崩れ等のリスク低減、車両・重機への負荷の低減をしました。



清掃メンテナンス用足場

(3) 業務部の取り組み

【取り組み内容】

- 毎日出勤時にアルコールチェックを行いました。卓上用アルコール検知器を導入してから検出された人は0人で、飲酒運転撲滅に対する社員の意識も年々向上しています。また、アルコール検知器に運転免許証の有効期間も表示されますので、運転免許更新忘れがないよう注意喚起を行っています。



アルコールチェック

(4) 組織全体の取り組み

【取り組み内容】

- 毎日朝礼前に、本社周辺道路の清掃と春夏には除草作業をし、秋冬には落ち葉の清掃を行っています。
- 営業部は月に一度清掃範囲を広げて周辺道路の清掃を行っています。このような地道な活動を継続することで、周辺美化に気をつけています。
- 労働災害防止啓発活動として、毎月1日からの一週間を安全週間として安全旗を本社屋に掲げて啓発活動を行っています。



除草作業の様子

本社工場では、労働災害をハード面で補う点とソフト面で補う点の両方を改善する事が出来ました。また、倉橋工場も場内の危険な箇所を抽出し改善する事が出来ました。他の部署でもリスクアセスメントをしっかりと実施して、今後も更なる労働災害の撲滅に努力していきます。業務部のアルコールチェックや免許更新の確認なども継続し、様々な法令遵守やコンプライアンスを強化して、公正・公平に業務を実施していきたいと考えています。

組織全体でも、引き続き本社周辺道路の清掃を実施し、周辺環境の美化に努めて、地域への貢献をしていきます。



本社工場 飯田次長

産業廃棄物収集運搬業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03409004558号	令和10年09月01日	(優)	令和3年09月02日
岡山県	第03307004558号	令和5年06月18日	(優)	平成28年07月01日
島根県	第3200004558号	令和7年11月07日	(優)	平成30年11月08日
山口県	第03500004558号	令和7年11月24日	(優)	平成30年11月25日
鳥取県	第03104004558号	令和10年07月05日	(優)	令和3年07月06日
愛媛県	第3805004558号	令和7年08月28日	(優)	平成30年08月29日
高知県	第03900004558号	令和4年09月04日	(優)	平成27年09月05日
徳島県	第3600004558号	令和5年10月23日	(優)	平成28年11月08日
香川県	第03709004558号	令和5年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02803004558号	令和4年08月30日	(優)	平成27年08月31日
大阪府	第02700004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03459004558号	令和5年11月28日	(優)	平成28年11月29日
岡山県	第03357004558号	令和5年06月18日	(優)	平成28年07月01日
島根県	第3250004558号	令和5年09月02日	(優)	平成28年09月03日
山口県	第03550004558号	令和7年11月24日	(優)	平成30年11月25日
鳥取県	第03154004558号	令和8年02月01日	(優)	平成31年02月02日
愛媛県	第3855004558号	令和7年08月28日	(優)	平成30年08月29日
高知県	第03950004558号	令和4年09月04日	(優)	平成27年09月05日
徳島県	第3650004558号	令和5年10月23日	(優)	平成28年11月08日
香川県	第03759004558号	令和5年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02853004558号	令和4年08月30日	(優)	平成27年08月31日
大阪府	第02750004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

産業廃棄物処分業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07320004558号	令和4年03月21日	(優)	平成27年03月22日
呉市	第07422004558号	令和5年07月28日		平成30年07月29日

特別管理産業廃棄物処分業許可一覽

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07370004558号	令和4年09月27日	(優)	平成27年09月28日

施設	処理方法	処理能力	事業所
回転炉床式焼却炉	焼却	6.6t/日	本社工場
ロータリーキルン式焼却炉	焼却	4.8t/日	本社工場
二軸剪断式破碎施設	破碎	木くず6.0t/日・他	本社工場
縦型圧縮梱包器	圧縮	繊維くず4.49t/日・他	本社工場
電気ヒーター熱分解方式	熔融	50m ³ /時	本社工場
移動式脱水車	移動脱水	50m ³ /日	本社工場
固化施設	固化	50m ³ /日	本社工場
天日乾燥施設	天日乾燥	50m ³ /日	本社工場
連続中和装置	中和	48m ³ /日	本社工場
安定化処理施設	安定化	4t/日	本社工場
発酵施設	発酵	15m ³ /日	本社工場
発酵施設	発酵	70t/日	倉橋工場

区分	産業廃棄物収集運搬業	産業廃棄物処分業
燃え殻	○	
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
廃プラスチック類	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
動植物性残渣	○	○
動物系固形不要物	○	○
ゴムくず	○	○
金属くず	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○
鉱さい	○	
がれき類	○	
動物のふん尿	○	
動物の死体	○	
ばいじん	○	
産廃処理物	○	
石綿含有産廃を含む	○	

区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
感染性産業廃棄物	○	○
特定有害産業廃棄物	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
燃え殻	○	○
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
鉱さい	○	○
ばいじん	○	○



本社工場破碎作業の様子



業務部吸引作業の様子

収集運搬車両数量等

吸引車（10t/4t）：4台



吸引車は、大風量のブロフでタンク内を負圧にし、ホースの先から吸引します。液体物だけでなく、泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。

ダンプ車（10t/3t/2t）：5台



スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱型ダンプ仕様も用意して、あらゆる廃棄物に対応できるようにしています。

ウイング車（8t/4t/2t）：3台



主にドラム缶やフレコンバッグ等、容器に入れられた廃棄物を運搬する車両です。8t車では一度に34本のドラム缶を運搬することができます。

コンテナ車（10t/4t）：8台



お客様のところに専用コンテナを設置し、廃プラスチック類や脱水汚泥等の廃棄物を収集運搬する車両です。有機汚泥には密閉式コンテナも用意しています。

ユニック車（4t）：2台



トラックに取付けられたクレーンを使って、重量物を吊上げて積載する車両です。

パッカー車（2t）：4台

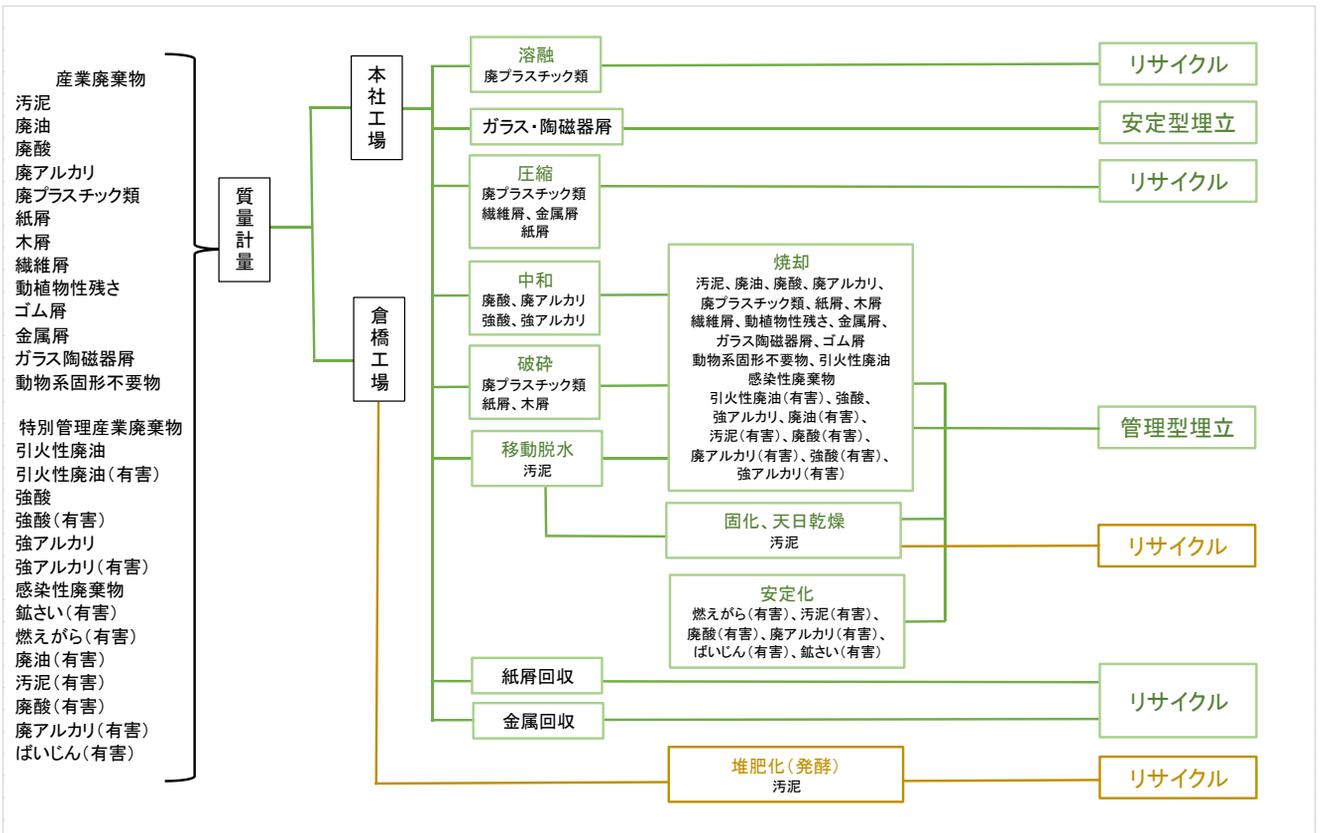
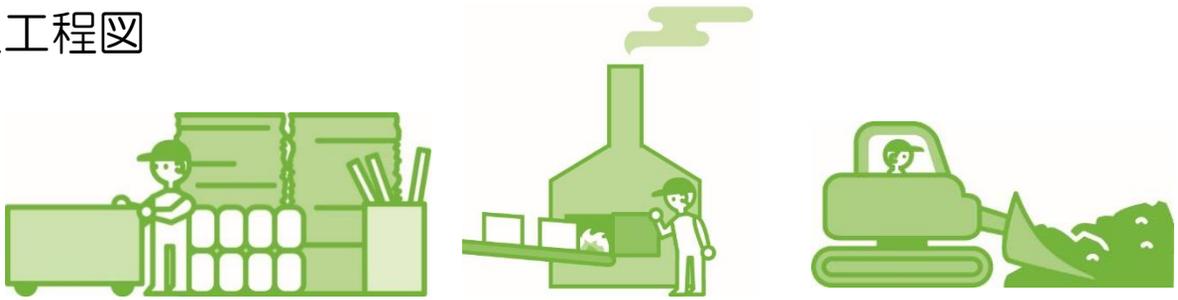


街中でよく見かけるゴミ収集車です。小さな車両ですが、積載できる量は2tと多い車両です。

軽バンなどを合わせると全37台あり、あらゆる廃棄物に対応できるようにラインナップしています。

車種	車番	積載量(kg)	車種	車番	積載量(kg)
大型吸引車	1540	8850	2tアームロール	2843	2000
大型吸引車	1785	7370	4t水密ダンプ	8840	3600
4t吸引車	4707	2900	3tダンプ	8895	3000
4t吸引車	8126	2470	3tダンプ	4801	3000
8tウイング	2838	6800	2tダンプ	3425	2000
4tウイング	3086	2250	2tパッカー	8625	2000
2tパワーゲート	2509	1500	2tパッカー	4637	2000
大型ダンプ	3762	9800	2tパッカー	4528	2000
大型平ボディー	9609	13900	2tパッカー	8342	2000
大型アームロール	2710	10900	4tユニック	3284	2550
4tアームロール	5565	3900	4tユニック	7919	3450
4tアームロール	8156	4000	軽ダンプ	4412	350
4tアームロール	1851	4050	軽バン	1169	350
3tアームロール	1581	3000	軽バン	3465	350
3tアームロール	8859	3000	軽バン	621	350
3tアームロール	9432	3000	軽バン	2030	350
洗浄車	7428	-	軽バン	3813	350
洗浄車	3570	-	ハイエース	264	1150
給水車	7379	-	TV車	9003	-

処理工程図



環境関連法規・訴訟

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条例等	要項	主な内容
環境基本法	第8条	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動に伴い生じる公害を防止する 事業活動に係る製品が廃棄物となった場合の適正処理の措置 事業活動に係る製品が使用、廃棄されることによる環境負荷の低減と再生資源の利用 国または地方公共団体の環境保全に関する施策への協力
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の排出を抑制し、適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理を行う 生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る マニフェストの交付、管理の遵守
水質汚濁防止法及び広島県公害防止条例	第5条	<ul style="list-style-type: none"> 工場及び事業場から排出される水の排出及び浸透を規制し、生活排水対策を実施する 水質の汚濁の防止を図り、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する 健康被害が生じた場合の責任を明確にし、被害者の保護を図る
騒音規制法	第5条	<ul style="list-style-type: none"> 騒音についての必要な規制を行なうとともに、許容限度を定めることにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
振動規制法	第5条	<ul style="list-style-type: none"> 振動についての必要な規制を行なうとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
悪臭防止法	第4条	<ul style="list-style-type: none"> 悪臭について必要な規制を行い、その他悪臭防止対策を推進することにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
大気汚染防止法	第2条	<ul style="list-style-type: none"> ばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出等を規制し、有害大気汚染物質対策の実施を推進する 自動車排出ガスに係る許容限度を定めること等により国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する 健康被害が生じた場合の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図る
ダイオキシン類対策特別措置法	第2条	<ul style="list-style-type: none"> ダイオキシン類による環境の汚染防止及びその除去等をするため基準を定め、必要な規制、汚染土壌に係る措置等を定め、国民の健康の保護を図る
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第2条	<ul style="list-style-type: none"> 事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する
消防法	第17・21条	<ul style="list-style-type: none"> 国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことで秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
肥料取締法	第4条	<ul style="list-style-type: none"> 肥料の品質を保全し、その公正な取引と安全な施用を確保するため、規格及び施用基準の公定、登録、検査等を行う。農業生産力の維持増進に寄与する
建設業法	第3条	<ul style="list-style-type: none"> 建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進する
建設リサイクル法		<ul style="list-style-type: none"> 特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する 登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る
道路運送車両法		<ul style="list-style-type: none"> 所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図る
毒物及び劇物取締法	第4条	<ul style="list-style-type: none"> 毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行う
計量法	第10条	<ul style="list-style-type: none"> 計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保
高圧ガス保安法	第9条	<ul style="list-style-type: none"> 高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制する
放射線障害防止法		<ul style="list-style-type: none"> 放射性同位元素の使用、販売、賃貸、廃棄その他の取扱い、発生装置の使用及び放射性汚染物の廃棄その他の取扱いを規制し、これらによる放射線障害を防止する
労働安全衛生法		<ul style="list-style-type: none"> 労働災害の防止のための危害防止基準の確立 責任体制の明確化及び自主的活動の促進 職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する
古物営業法		<ul style="list-style-type: none"> 盗品の売買の防止、速やかな発見等を図るため、必要な規制を行い、犯罪の防止を図り、その被害の迅速な回復をはかる
フロン排出抑制法	第16条	<ul style="list-style-type: none"> 機器使用環境の維持保全、簡易点検

(2) 違反、訴訟等

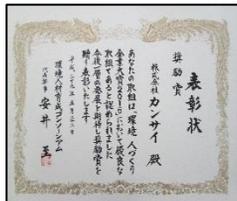
当社における環境関連法規への違反は過去三年間ありません。また、関係当局からの指摘は無く、訴訟もありませんでした。

(1) 賞 歴

【受賞歴】

【54期受賞歴】

- 第24回環境コミュニケーション大賞にて、優良賞を受賞しました。
- 環境人づくり企業大賞2020にて、優秀賞を受賞しました。



「環境人づくり
企業大賞2016
奨励賞」



「第21回環境コ
ミュニケーション
大賞 優良賞」



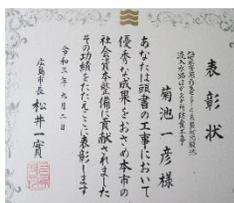
「環境人づくり
企業大賞2018
奨励賞」



「第23回環境コ
ミュニケーショ
ン大賞 優良賞」



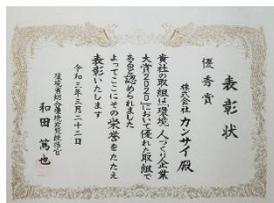
「環境人づくり
企業大賞2019
奨励賞」



「令和3年度広
島市優良建設工
事表彰」



「第24回環境コ
ミュニケーショ
ン大賞 優良賞」



「環境人づくり
企業大賞2020
優秀賞」

【審査委員会からの講評】

【第24回環境コミュニケーション大賞】

- 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬と中間処理を主体とした社員42名の会社である。SDGsの視点を活動に積極的に取り入れており、社内のコミュニケーションや安全の重視、積極的な情報公開と地域活動への参加なお高い意欲が伺える。レポートでは、環境活動への第三者意見を受けて改善に活かしている点も評価できる。改善の方向点として、例えば受託廃棄物の再資源化への取り組みを位置づけるなど本業に係る目標の設定があると、さらに活動が広がることが期待できる。

【環境人づくり企業大賞2020】

- 外部のNPO法人環境文明21主催「環境文明塾」への研修参加や”人間力“に対する社員一人ひとりの向き合い方から人間として自ら育てて欲しいという意図が伺える。

(2) 広島市表彰

【令和3年度広島市優良建設工事】

- 広島市が発注する建設工事又は建設コンサルタント業務等において、優れた成績を収めた受注者及び技術者を表彰することにより、受注者及び技術者の高揚を図り、建設業界の魅力や社会的評価を向上させ、もって将来にわたる建設業界の維持・発展と公共事業の品質確保を図ることを目的に、平成29年度より広島市優良工事建設工事等表彰制度にて、旭町水資源再生センターでの防食工事が表彰されました。



表彰された菊池次長

(3) ベテラン社員インタビュー



(入社40年)



(入社28年)



(入社26年)



(入社25年)



(入社23年)



(入社23年)



(入社22年)

【カンサイに入社した経緯は？】



前職の家具卸で担当していたスーパーに家具売り場がなくなり転職を決意



子育てをしながら働ける企業を一生懸命さがしました



前職で取引があり知っていたので、イエローブックの求人応募



バブル後の就職活動で官公庁の仕事が多く、社員旅行が海外と言われたから

【今までの仕事で一番辛かったことは？】



入社5年は仕事が取れなくて会議に出るのが半端ないプレッシャーだった



子どもが病気になった時、親に預けていた事

知識ゼロで飛び込み営業の時心が折れそうになった



夏の暑さと冬の寒さが年々辛い



雨水管テレビ調査中にカメラを確認に行ったが勾配と流水がきつく力尽きたこと

虫歯で顔が腫れている中作業し続けたこと、46年生きてきた中で一番の激痛！

【カンサイに入社して一番印象に残っている出来事は？】



工場・業務部を研修で3か月間経験したが、社員の方のキャラクターが強烈だった



富士登山。その後の生き方にも影響があった

富士登山・しまなみウォーキング等、色々チャレンジした事



初めての下水道内目視調査での悪臭で気分が悪くなったこと



職場結婚



槽内作業で酸欠になって会社の人みんなに迷惑をかけたこと



富士山に登頂できたこと

スーパーカイド

【肥料について】

- 倉橋工場では、下水処理場やし尿処理場において生活排水を浄化する際に発生する廃棄物である汚泥を受け入れ、好氣的に発酵処理し、肥料「スーパーカイド」へとリサイクルしています。
- 「スーパーカイド」の特徴としては、葉や茎の生長に欠かせない窒素と、開花・結実、根の伸長に役立つリン酸を豊富に含んでおり、野菜、果樹、稲作、花卉、芝生、植木などに幅広くご使用いただけます。十分に発酵処理していますので、未熟堆肥のような生育障害の心配がなく、元肥にも追肥にも利用できます。農産物だけでなく肥料も地産地消していただけるように、地元の方々へアピールしていきたいと思っております。
- 下の写真は、リサイクル肥料カイドを使用して家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる社員たちの花壇や畑の様子です。

肥料お求めはこちらまで・・・

TEL：(082) 941-1641

TEL：(0823) 53-1823

カンサイ総務部

カンサイ倉橋工場

12 つくる責任つかう責任

【倉橋工場の取組み】

- 倉橋工場では、下水汚泥を発酵させ環境にやさしい堆肥を製造し個人や農園で使用してもらい農作物生産の手助けをしています。

12 つくる責任
つかう責任



下水汚泥の混合



発酵状態



14 55期の活動計画

※新年に「人間力の向上」をテーマに抱負を掲げ進捗状況を確認（年3回）して、各自の成長に向けた取り組みをしていきます。

※55期も引き続き、オンラインで環境力道場を開催して、これまでの取り組みの検証と、全社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取り組みます。

※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取組の組み	個人の成長（人間力の向上）	年間目標を掲げPDCAを繰り返す	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場
	(2) 業務車両のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用 管理体制の強化	通年	業務部
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善 管理体制の強化	通年	倉橋工場
	(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部
	(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室
	(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場
	(3) 施設の改善	設備更新の実施	通年	本社工場
		作業環境と効率アップの設備配置の検討		倉橋工場
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場
(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部	
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生月の人をお祝いする	通年	総務部
		永年勤続者の表彰		
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部
		家族見学会の企画・実施	6月	総務部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
(6) 福利厚生拡充	社内サークルの運営	通年	実行委員	
(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部	
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場
				倉橋工場
				業務部
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一付けの推進	通年	全部署	
	毎週金曜日の清掃活動			
(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局	
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境経営レポートの発行	10月中に54期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

作成日 2021年9月17日

2013年から開始された当社の「環境力道場」を通して、役職員の産廃処理という仕事に対する情熱と社会に対する責任感の強さを私たちは身近に感じてきました。そして、今回のレポートを拝見すると、川本義二社長の優れた環境経営方針を着実に実行しようとする社員の皆さんの熱い思いと実践の姿が思い起こされ、充実した内容になっていると思います。

具体的には、昨年度にもまして、それぞれの部署で、脱炭素に向けて、これまでの課題をより具体的な工夫で改善しようとする取り組みが見られますし、これまで課題とされてきた部署内でもコミュニケーションにも改善が見られ、互いに助け合いながら、一人ひとりが自身の仕事に誇りと責任を持ち積極的に取り組んでいる姿が伺えます。環境力道場やそのほかの研修で得た知識や議論、それに現場での経験が加わり、知識が知恵へと変化し、それらが着実に事業活動に反映されるようになってきていることは、長年、研修事業に関わってきた者として、うれしい限りです。

また昨年以降、様々な設備の改善が行われ、資格取得も計画的に行われていますが、これも、今後のカンサイそして従業員の皆さんの成長に必ず役立つ取り組みです。

こうした前向きな社内環境が、コロナ感染が続く中でも、一人の感染者も出さず、元気にエッセンシャル・ワーカーとしての責務を果たしてきたことに通じているのだと思います。

一方社外の動向に目を転じると、時代は激動とあってよいほど大きく変化しています。昨2020年10月「2050年カーボンニュートラルの実現」が打ち出され、それらに基づき2030年にはCO₂などの温室効果ガスを2013年比46-50%削減するといった目標が出されました。そして、先般開催された国連の気候変動対策会議（COP26）で、岸田総理はこの方針を国際社会に鮮明に打ち出しました。

カンサイでは、本社工場で使用するA重油が長年の懸案事項で、今年も目標達成に至りませんでした。しかし、今回のレポートが示すように、カンサイには長年にわたってCO₂排出の管理を含め、事業活動に伴う環境の保全に最大限努力してきた実績があります。そして時代は、確実にそうした取り組みを後押しする流れとなっています。

今後は、環境創造総合企業への具体的な取り組みと併せて、この懸案事項についても、皆で知恵を絞り、経験を積み重ね、社会の動きも味方につけて、より一層前進することを大いに期待しています。



2021年10月

環境文明研究所 加藤三郎、藤村コノエ

54期も無事に終わることが出来ました。心から感謝申し上げます。引き続き、新型コロナウイルス感染症は私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。医療関係の皆様や、感染拡大防止にご尽力されている多くの方々に、深く感謝申し上げます。

弊社の業績は順調に推移し、着実に足元を固めることができました。また、廃棄物処理という社会のインフラに必要な仕事に従事している事を自覚し、日常の感染予防を行うことで、全部門で通常営業を行う事が出来ました。

55期は焼却炉の更新工事を行います。協力会社との連携を図り、安全の確保に十分な対策をたてて進めて参ります。

株式会社 カンサイ

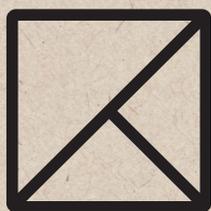
代表取締役 川本 義二

17 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大から約1年半が経過しました。ワクチン接種や手洗い・マスクの着用・消毒等、日々の努力によって減少傾向になり経済活動も動き出し少し心にもゆとりがでてきました。その中でも、仕事を失い大切な人を亡くした多くの方々がおられることを忘れてはいけません。エッセンシャルワーカーである私たちカンサイは、一人の感染者を出すことなく仕事ができている事に感謝しています。また、気候変動対策に伴い経済の大転換が起こり始めています。行政や大企業の方針によって私たち中小企業の活動は左右されますが、気候変動対策を講じなければならないのは事実です。カンサイにとって何が最善な手段なのかを全社員で模索し実行して、経営理念にあります「全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに 併せて人類と自然（全人類 大自然）との調和を大切に」を実現できる取り組みを今後も増やしていき、すべての事象に思いやりをもてる会社にできればと思います。

環境管理責任者
北川 貴伸

株式会社カンサイは、
環境創造総合企業を目指しています



K Δ N S Δ I

株式会社 カンサイ

住 所 〒731-5102
広島市佐伯区五日市町大字石内
460番地

連 絡 先 TEL:(082)941-1641
FAX:(082)941-1715
E-mail:kansai@ekansai.co.jp

発行責任者 環境管理責任者・北川
エコアクション21事務局・山田